

2018 年度
南山大学自己点検・評価報告書
点検・評価結果
(学部・研究科)

南山大学自己点検・評価委員会

2018 年度

南山大学自己点検・評価報告書

点検・評価結果

(学部・研究科)

－目 次－

<学部>

●人文学部.....	1
・キリスト教学科.....	4
・人類文化学科.....	7
・心理人間学科.....	10
・日本文化学科.....	13
●外国語学部.....	16
・英米学科.....	19
・スペイン・ラテンアメリカ学科.....	23
・フランス学科.....	27

・ドイツ学科.....	30
・アジア学科.....	34
●経済学部.....	38
●経営学部.....	41
●法学部.....	44
●総合政策学部.....	47
●理工学部.....	50
・システム数理学科.....	53
・ソフトウェア工学科.....	56
・機械電子制御工学科.....	59
●国際教養学部.....	62
●短期大学部.....	65

<研究科>

●人間文化研究科.....	68
・キリスト教思想専攻.....	72
・宗教思想専攻.....	75
・人類学専攻.....	78

・教育ファシリテーション専攻.....	82
・言語科学専攻.....	86
●国際地域文化研究科.....	89
●社会科学研究科.....	94
・経済学専攻.....	98
・経営学専攻.....	102
・総合政策学専攻.....	106
●法務研究科.....	110
●理工学研究科.....	113
・システム数理専攻.....	116
・ソフトウェア工学専攻.....	119
・機械電子制御工学専攻.....	123

自己点検・評価委員会による各組織の「評価できる点」、「改善すべき点」および各組織に対する「意見・指示」がない以下の組織については、点検・評価結果を掲載していません。

<研究科>

ビジネス研究科、ビジネス研究科経営学専攻

2018年度自己点検・評価報告書 意見・指示および改善計画書

				学部・学科/研究科・専攻			人文学部	
評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入		
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画		
基準1	理念・目的	① 大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	学部・研究科の目的が設定され、公表されていることを前提に、その内容および大学の理念・目的と関連しているか。					
基準4	教育課程・学習成果	② 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	(1) ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーが整合しているか。			改善案に沿ったカリキュラムポリシーの修正を、ぜひお願いいたします。	現在修正版が学内各種会議体による審議・承認を受けている最中で、2019年度中に改正ができる見通しです。	
		③ 教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1) 開設している授業科目が、科目の位置付け、配置年次などを含め、カリキュラム・ポリシーと整合しているか。					
			(2) 学部は、初年次教育、共通教育科目と専門科目の連携。					
			(3) 研究科は、コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮。					
			(4) 専門職大学院は、理論教育と実務教育の適切な配置。					
④ 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	(1) 留学プログラムの充実 【2018年度学長方針】	短期留学プログラムで新しいプログラムが実施できたことで、着実に充実が図られている点が評価できる。						
	(2) 学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容および授業方法							
	(3) 学部は、e-ポートフォリオやWeblclassなどによる履修指導							
	(4) 研究科は、研究指導計画の明示とそれに基づく研究指導の実施							
	(5) 専門職大学院は、実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導の実施							

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
	⑤ 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1)成績評価の客観性、厳格性を担保するための措置 (2)学位授与に係る責任体制 (3)研究科は、学位論文審査基準、学位審査および修了認定の客観性および厳格性を担保する措置	各学科での客観的な成績評価について、学部としても把握して点検している点が評価できる。			
	⑥ 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)学習成果の測定をどのような方法で行っているか。 (例えば、アセスメントテスト、ルーブリックを活用した測定、学生調査など。)	学習成果の測定方法として、「学部として」+「各学科ごと」という形で卒業生対象カリキュラム調査を実施しており、ディプロマ・ポリシーに書かれた能力の習得について確認していることが評価できる。			
	⑦ 教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについて、どのように検証しているか。 (2)カリキュラム・ポリシーと授業科目の整合性について、どのような方法で検証を行っているか。				
基準5	学生の受け入れ	② 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。 ③ 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。 ④ 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)留学生の受入れを促進するための制度改革をしているか 【2018年度学長方針】 (1)研究科は、入学者を増やす取り組みをしているか【2018年度学長方針】 (1)2017年度に改正したアドミッション・ポリシーについて、どのように検証しているか。			

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準 6	教員・教員組織	② 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。	(1) 人事計画に沿った教員の組織編制ができていないか。			
		④ ファカルティ・ディベロップメント (FD) 活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。	(1) どのようなFD活動を実施し、その結果をどう活用しているか。(学部/研究科それぞれ別にFD活動を実施する必要がある。)			
		⑤ 教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) 教員組織の編成方針、FD活動の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			
基準 7	学生支援	② 学生支援に関する大学との方針に基づき、学生支援の体制は整備されているか。また、学生支援は適切に行われているか。	(1) 多様な背景をもつ学生に対する具体的対応、補習教育、補充教育および成績不良学生の状況把握など、修学に対する支援の実施。			
		③ 学生支援の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) 学生への就学支援の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			
基準 9	社会連携・社会貢献	② 社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。	(1) 社会連携・社会貢献に関する取り組み、地域交流、国際交流事業、卒業生との連携を行っているか。【2018年度学長方針】	社会貢献、地域交流、国際交流に関する出講依頼や業務依頼を請け負っている(延べ68件)ことは社会連携・社会貢献を増進するとして評価できる。		
		③ 社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) その取り組みの適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			

2018年度自己点検・評価報告書 意見・指示および改善計画書

		学部・学科/研究科・専攻			人文学部・キリスト教学科		
評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入	
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画	
基準1	理念・目的	① 大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	学部・研究科の目的が設定され、公表されていることを前提に、その内容および大学の理念・目的と関連しているか。	学科の理念が高校生にも分かりやすいように、表現を工夫していることが、評価できる。			
基準4	教育課程・学習成果	② 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	(1) ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーが整合しているか。	DP冒頭の「創造的な思考力」をめぐる検討や語めが急がれる。			
		③ 教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1) 開設している授業科目が、科目の位置付け、配置年次などを含め、カリキュラム・ポリシーと整合しているか。	各分野にわたって、学科の特色を反映する幅広いカリキュラムを提供できていることが、評価できる。			
			(2) 学部は、初年次教育、共通教育科目と専門科目の連携。				
			(3) 研究科は、コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮。				
			(4) 専門職大学院は、理論教育と実務教育の適切な配置。				
		④ 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	(1) 留学プログラムの充実 【2018年度学長方針】				
			(2) 学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容および授業方法	学生の主体的参加を促進する十分な措置が取られている点、少数による丁寧な指導が実施され、学生からも評価されている点が評価できる。			
			(3) 学部は、e-ポートフォリオやWebclassなどによる履修指導				
			(4) 研究科は、研究指導計画の明示とそれに基づく研究指導の実施				
			(5) 専門職大学院は、実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導の実施				
⑤ 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1) 成績評価の客観性、厳格性を担保するための措置						
	(2) 学位授与に係る責任体制 (3) 研究科は、学位論文審査基準、学位審査および修了認定の客観性および厳格性を担保する措置						

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
	⑥ 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)学習成果の測定をどのような方法で行っているか。(例えば、アセスメントテスト、ルーブリックを活用した測定、学生調査など。)	卒業生対象カリキュラム評価を通じて、学生の学習成果を把握し、また評価の低い点を問題点として把握できている点が評価できる。			
	⑦ 教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについて、どのように検証しているか。 (2)カリキュラム・ポリシーと授業科目の整合性について、どのような方法で検証を行っているか。				
基準5	学生の受け入れ	② 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。	(1)留学生の受け入れを促進するための制度改革をしているか【2018年度学長方針】			
		③ 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1)研究科は、入学者を増やす取り組みをしているか【2018年度学長方針】			
		④ 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したアドミッション・ポリシーについて、どのように検証しているか。			
基準6	教員・教員組織	② 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。	(1)人事計画に沿った教員の組織編制ができているか。			
		④ ファカルティ・ディベロップメント（FD）活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。	(1)どのようなFD活動を実施し、その結果をどう活用しているか。（学部/研究科それぞれ別にFD活動を実施する必要がある。）			
		⑤ 教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)教員組織の編成方針、FD活動の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準7	学生支援	② 学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制は整備されているか。また、学生支援は適切に行われているか。	(1) 多様な背景をもつ学生に対する具体的対応、補習教育、補充教育および成績不良学生の状況把握など、修学に対する支援の実施。			
		③ 学生支援の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) 学生への就学支援の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			
基準9	社会連携・社会貢献	② 社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。	(1) 社会連携・社会貢献に関する取り組み、地域交流、国際交流事業、卒業生との連携を行っているか。【2018年度学長方針】	毎年、カトリック大学キリスト教文化研究所協議会に学科教員が参加し、カトリック大学との連携・交流をおこなっていることは、社会連携・社会貢献を促進するものとして評価できる。		
		③ 社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) その取り組みの適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			

2018年度自己点検・評価報告書 意見・指示および改善計画書

		学部・学科/研究科・専攻			人文学部・人類文化学科	
評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準1	理念・目的	① 大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	学部・研究科の目的が設定され、公表されていることを前提に、その内容および大学の理念・目的と関連しているか。			
基準4	教育課程・学習成果	② 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	(1) ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーが整合しているか。			
		③ 教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1) 開設している授業科目が、科目の位置付け、配置年次などを含め、カリキュラム・ポリシーと整合しているか。			
			(2) 学部は、初年次教育、共通教育科目と専門科目の連携。			
			(3) 研究科は、コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮。			
			(4) 専門職大学院は、理論教育と実務教育の適切な配置。			
④ 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	(1) 留学プログラムの充実 【2018年度学長方針】	海外フィールドワークの実施・運営作業を担当教員1名が担う体制となっていること。				
	(2) 学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容および授業方法	人類学フェスティバルにおける学習・調査結果の発表は、主体的学習を促す良い機会となっている点が評価できる。				
	(3) 学部は、e-ポートフォリオやWebclassなどによる履修指導					
	(4) 研究科は、研究指導計画の明示とそれに基づく研究指導の実施					
	(5) 専門職大学院は、実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導の実施					

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
	⑤ 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1)成績評価の客観性、厳格性を担保するための措置 (2)学位授与に係る責任体制 (3)研究科は、学位論文審査基準、学位審査および修了認定の客観性および厳格性を担保する措置	研究プロジェクトの評価を複数の教員でおこなっていることは、評価の公正性、客観性の観点から評価できる。			
	⑥ 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)学習成果の測定をどのような方法で行っているか。 (例えば、アセスメントテスト、ルーブリックを活用した測定、学生調査など。)				
	⑦ 教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについて、どのように検証しているか。 (2)カリキュラム・ポリシーと授業科目の整合性について、どのような方法で検証を行っているか。				
基準5	学生の受け入れ	② 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学選抜を公正に実施しているか。 ③ 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を取容定員に基づき適正に管理しているか。 ④ 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)留学生の受入れを促進するための制度改革をしているか 【2018年度学長方針】 (1)研究科は、入学を増やす取り組みをしているか【2018年度学長方針】 (1)2017年度に改正したアドミッション・ポリシーについて、どのように検証しているか。			

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準6	教員・教員組織	② 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。	(1) 人事計画に沿った教員の組織編制ができているか。			
		④ ファカルティ・ディベロップメント（FD）活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。	(1) どのようなFD活動を実施し、その結果をどう活用しているか。（学部/研究科それぞれ別にFD活動を実施する必要がある。）	異なる教員の主体的な発案によって、FD活動が実施されている点が評価できる。		
		⑤ 教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) 教員組織の編成方針、FD活動の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			
基準7	学生支援	② 学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制は整備されているか。また、学生支援は適切に行われているか。	(1) 多様な背景をもつ学生に対する具体的対応、補習教育、補充教育および成績不良学生の状況把握など、修学に対する支援の実施。			
		③ 学生支援の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) 学生への就学支援の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			
基準9	社会連携・社会貢献	② 社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。	(1) 社会連携・社会貢献に関する取り組み、地域交流、国際交流事業、卒業生との連携を行っているか。【2018年度学長方針】			
		③ 社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) その取り組みの適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			

2018年度自己点検・評価報告書 意見・指示および改善計画書

		学部・学科/研究科・専攻			人文学部・心理人間学科	
評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準1	理念・目的	① 大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	学部・研究科の目的が設定され、公表されていることを前提に、その内容および大学の理念・目的と関連しているか。			
基準4	教育課程・学習成果	② 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	(1) ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーが整合しているか。			
		③ 教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1) 開設している授業科目が、科目の位置付け、配置年次などを含め、カリキュラム・ポリシーと整合しているか。			
			(2) 学部は、初年次教育、共通教育科目と専門科目の連携。			
			(3) 研究科は、コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮。			
			(4) 専門職大学院は、理論教育と実務教育の適切な配置。			
④ 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	(1) 留学プログラムの充実 【2018年度学長方針】 (2) 学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容および授業方法	「学科教員を対象に調査を行い、ゼミ相当である「心理人間演習」と非常勤講師担当科目を除く学科科目46科目中、40科目で、ペアやグループ学習、ディスカッション、体験学習など何らかの学生の主体的参加を促す方法が導入されている」、とのことで、高い割合で学生の主体的学習を促進している点は評価できる。				
	(3) 学部は、e-ポートフォリオやWebclassなどによる履修指導					
	(4) 研究科は、研究指導計画の明示とそれに基づく研究指導の実施					
	(5) 専門職大学院は、実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導の実施					

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入	
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画	
	⑤ 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1)成績評価の客観性、厳格性を担保するための措置					
		(2)学位授与に係る責任体制					
		(3)研究科は、学位論文審査基準、学位審査および修了認定の客観性および厳格性を担保する措置					
	⑥ 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)学習成果の測定をどのような方法で行っているか。(例えば、アセスメントテスト、ルーブリックを活用した測定、学生調査など。)	卒業予定者を対象とした学科独自の調査結果から、在学中の学業への取り組みに対する自己評価とGPAの間の相関性の検証は、学習成果の測定に関する試みとして評価できる。				
⑦ 教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについて、どのように検証しているか。						
	(2)カリキュラム・ポリシーと授業科目の整合性について、どのような方法で検証を行っているか。						
基準5	学生の受け入れ	② 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。	(1)留学生の受け入れを促進するための制度改革をしているか 【2018年度学長方針】				
		③ 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1)研究科は、入学者を増やす取り組みをしているか 【2018年度学長方針】				
		④ 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したアドミッション・ポリシーについて、どのように検証しているか。				

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準6	教員・教員組織	② 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。	(1)人事計画に沿った教員の組織編制ができているか。			
		④ ファカルティ・ディベロップメント（FD）活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。	(1)どのようなFD活動を実施し、その結果をどう活用しているか。（学部/研究科それぞれにFD活動を実施する必要がある。）	毎年3月に開催する「心理人間教育研究会」での研究発表と意見交換が、授業運営に生かされていることが評価できる。		
		⑤ 教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)教員組織の編成方針、FD活動の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			
基準7	学生支援	② 学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制は整備されているか。また、学生支援は適切に行われているか。	(1)多様な背景をもつ学生に対する具体的対応、補習教育、補充教育および成績不良学生の状況把握など、修学に対する支援の実施。			
		③ 学生支援の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)学生への就学支援の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			
基準9	社会連携・社会貢献	② 社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。	(1)社会連携・社会貢献に関する取り組み、地域交流、国際交流事業、卒業生との連携を行っているか。【2018年度学長方針】	毎年、研究プロジェクト論文発表会の日に、学科独自の「ホームカミングデー」を開催している。昨年度は、卒業生、高校生、他大学学生、そして近隣住民等の来場者が26名あり、社会連携促進のアプローチとして評価できる。		
		③ 社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)その取り組みの適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			

2018年度自己点検・評価報告書 意見・指示および改善計画書

		学部・学科/研究科・専攻			人文学部・日本文化学科		
評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入	
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画	
基準1	理念・目的	① 大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	学部・研究科の目的が設定され、公表されていることを前提に、その内容および大学の理念・目的と関連しているか。				
基準4	教育課程・学習成果	② 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	(1) ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーが整合しているか。	学生の進学理由と実際のカリキュラム内容が、卒業時の学生の認識とほぼ一致しているという結果は、評価できる。			
		③ 教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1) 開設している授業科目が、科目の位置付け、配置年次などを含め、カリキュラム・ポリシーと整合しているか。				
			(2) 学部は、初年次教育、共通教育科目と専門科目の連携。				
			(3) 研究科は、コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮。				
			(4) 専門職大学院は、理論教育と実務教育の適切な配置。				
④ 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	(1) 留学プログラムの充実 【2018年度学長方針】 (2) 学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容および授業方法	学生への指導が周到に行われるように、一つのゼミ当たりの人数を厳密にしたことが、学生の主体的参加を促すための改善が確実になされていると評価できる。					
	(3) 学部は、e-ポートフォリオやWebclassなどによる履修指導						
	(4) 研究科は、研究指導計画の明示とそれに基づく研究指導の実施						
	(5) 専門職大学院は、実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導の実施						

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
	⑤ 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1)成績評価の客観性、厳格性を担保するための措置 (2)学位授与に係る責任体制 (3)研究科は、学位論文審査基準、学位審査および修了認定の客観性および厳格性を担保する措置	4年次の研究プロジェクトについては、上記の基本的な成績評価基準の遵守に加えて、各指導教員が、口頭試問、研究発表会（学生の個別発表・参加者との質疑応答）、最終プレゼンテーションなどの機会を設け、それらを通して教育成果が上がっているかどうかの検証を行っている。その最終的な成果（卒業論文）は、データ化して保存し、合同研究室における閲覧に供することによって、活用と継承をはかっていることが、透明性と公開性を確保している点は厳格性に寄与することで評価できる。	研究プロジェクトに関して、学科の教員同士の情報共有にやや弱さがみられること。		
	⑥ 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)学習成果の測定をどのような方法で行っているか。 (例えば、アセスメントテスト、ルーブリックを活用した測定、学生調査など。)				
	⑦ 教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについて、どのように検証しているか。 (2)カリキュラム・ポリシーと授業科目の整合性について、どのような方法で検証を行っているか。	学科の各領域における開講科目数、内容に関する科目間の調整・点検、各科目の実施方法などについては、学科会議をはじめ、領域別、科目別に関連教員点検を行っているおり、確実に検証が実施されている点が評価できる。			
基準5	学生の受け入れ ② 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。	(1)留学生の受け入れを促進するための制度改革をしているか 【2018年度学長方針】				
	③ 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1)研究科は、入学者を増やす取り組みをしているか【2018年度学長方針】				
	④ 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したアドミッション・ポリシーについて、どのように検証しているか。				

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準6	教員・教員組織	② 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。	(1) 人事計画に沿った教員の組織編制ができているか。			
		④ ファカルティ・ディベロップメント（FD）活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。	(1) どのようなFD活動を実施し、その結果をどう活用しているか。（学部/研究科それぞれ別にFD活動を実施する必要がある。）			
		⑤ 教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) 教員組織の編成方針、FD活動の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			
基準7	学生支援	② 学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制は整備されているか。また、学生支援は適切に行われているか。	(1) 多様な背景をもつ学生に対する具体的対応、補習教育、補充教育および成績不良学生の状況把握など、修学に対する支援の実施。			
		③ 学生支援の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) 学生への就学支援の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			
基準9	社会連携・社会貢献	② 社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。	(1) 社会連携・社会貢献に関する取り組み、地域交流、国際交流事業、卒業生との連携を行っているか。【2018年度学長方針】			
		③ 社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) その取り組みの適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			

2018年度自己点検・評価報告書 意見・指示および改善計画書

		学部・学科/研究科・専攻			外国語学部	
評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準1	理念・目的	① 大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	学部・研究科の目的が設定され、公表されていることを前提に、その内容および大学の理念・目的と関連しているか。			
基準4	教育課程・学習成果	② 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	(1) ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーが整合しているか。			
		③ 教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1) 開設している授業科目が、科目の位置付け、配置年次などを含め、カリキュラム・ポリシーと整合しているか。			
			(2) 学部は、初年次教育、共通教育科目と専門科目の連携。			
			(3) 研究科は、コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮。			
	④ 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	(1) 留学プログラムの充実 【2018年度学長方針】	学内最大の短期留学プログラム「海外フィールドワーク」の実施や100名を超える長期海外留学生の送り出しなど、海外体験学習に努め、成果を挙げている点は高く評価できる。			
	(2) 学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容および授業方法					
	(3) 学部は、e-ポートフォリオやWebclassなどによる履修指導					
	(4) 研究科は、研究指導計画の明示とそれに基づく研究指導の実施					
	(5) 専門職大学院は、実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導の実施					

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
	⑤ 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1)成績評価の客観性、厳格性を担保するための措置 (2)学位授与に係る責任体制 (3)研究科は、学位論文審査基準、学位審査および修了認定の客観性および厳格性を担保する措置	複数教員が担当する必修外国語科目は客観性・厳格性を担保するため、同一問題・同一基準による評価を実施していることは評価できる。			
	⑥ 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)学習成果の測定をどのような方法で行っているか。 (例えば、アセスメントテスト、ルーブリックを活用した測定、学生調査など。)				
	⑦ 教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについて、どのように検証しているか。 (2)カリキュラム・ポリシーと授業科目の整合性について、どのような方法で検証を行っているか。				
基準5	学生の受け入れ	② 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。	(1)留学生の受け入れを促進するための制度改革をしているか 【2018年度学長方針】			
		③ 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1)研究科は、入学者を増やす取り組みをしているか 【2018年度学長方針】			
		④ 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したアドミッション・ポリシーについて、どのように検証しているか。			

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準6	教員・教員組織	② 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。	(1) 人事計画に沿った教員の組織編制ができているか。			
		④ ファカルティ・ディベロップメント（FD）活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。	(1) どのようなFD活動を実施し、その結果をどう活用しているか。（学部/研究科それぞれ別にFD活動を実施する必要がある。）			
		⑤ 教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) 教員組織の編成方針、FD活動の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			
基準7	学生支援	② 学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制は整備されているか。また、学生支援は適切に行われているか。	(1) 多様な背景をもつ学生に対する具体的対応、補習教育、補充教育および成績不良学生の状況把握など、修学に対する支援の実施。			
		③ 学生支援の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) 学生への就学支援の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			
基準9	社会連携・社会貢献	② 社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。	(1) 社会連携・社会貢献に関する取り組み、地域交流、国際交流事業、卒業生との連携を行っているか。【2018年度学長方針】	企業から講師や卒業生を招いて、「国際社会で活躍するキャリアを考える特別プログラム」を年間5回開催し、「外交講座」や1年次向け「キャリアデザイン」科目を提供するなど、社会連携に積極的に取り組んでいる。また、国際交流についても、9カ国10プログラムの海外フィールドワークが提供され、領事館・日系企業訪問時のインターンシップ受け入れに関する卒業生との連携など、短期・長期の留学が促進されている。		
		③ 社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) その取り組みの適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			

2018年度自己点検・評価報告書 意見・指示および改善計画書

		学部・学科/研究科・専攻			外国語学部・英米学科		
評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入	
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画	
基準1	理念・目的	① 大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	学部・研究科の目的が設定され、公表されていることを前提に、その内容および大学の理念・目的と関連しているか。				
基準4	教育課程・学習成果	② 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	(1) ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーが整合しているか。				
		③ 教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1) 開設している授業科目が、科目の位置付け、配置年次などを含め、カリキュラム・ポリシーと整合しているか。				
			(2) 学部は、初年次教育、共通教育科目と専門科目の連携。	初年次教育としては、1年次学科必修科目で、全クラス共通の学科独自作成教科書を使用するとともに、コーディネーターを置いて質的管理を行なっていることが、組織的メカニズムとして機能しており評価できる。			
			(3) 研究科は、コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮。				
	(4) 専門職大学院は、理論教育と実務教育の適切な配置。						

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
	④ 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	(1) 留学プログラムの充実 【2018年度学長方針】	学科短期留学プログラムが、学生の学習を活性化し、効果的に教育を行う措置として大きな役割を果たしている点は評価できる。			
		(2) 学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容および授業方法				
		(3) 学部は、e-ポートフォリオやWebclassなどによる履修指導				
		(4) 研究科は、研究指導計画の明示とそれに基づく研究指導の実施				
		(5) 専門職大学院は、実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導の実施				
	⑤ 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1) 成績評価の客観性、厳格性を担保するための措置	複数クラスの成績評価の標準化がはかられ、そのばらつきを把握していることは、評価できる		複数クラスの成績評価等、問題点について、改善への方策を検討する必要があると思います。	専任教員による授業については、教材の統一、評価の際のルーブリックの活用により成績評価の標準化が達成できた。これを踏まえて、2020年度は、非常勤講師が担当する授業も含めて、成績評価の公正性を保つことができるように努める。
		(2) 学位授与に係る責任体制				
		(3) 研究科は、学位論文審査基準、学位審査および修了認定の客観性および厳格性を担保する措置				
⑥ 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1) 学習成果の測定をどのような方法で行っているか。 (例えば、アセスメントテスト、ルーブリックを活用した測定、学生調査など。)					
⑦ 教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) 2017年度に改正したディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについて、どのように検証しているか。					
	(2) カリキュラム・ポリシーと授業科目の整合性について、どのような方法で検証を行っているか。					

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準5	学生の受け入れ	② 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学選抜を公正に実施しているか。	(1) 留学生の受入れを促進するための制度改革をしているか 【2018年度学長方針】			
		③ 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1) 研究科は、入学者を増やす取り組みをしているか【2018年度学長方針】			
		④ 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) 2017年度に改正したアドミッション・ポリシーについて、どのように検証しているか。			
基準6	教員・教員組織	② 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。	(1) 人事計画に沿った教員の組織編制ができているか。			
		④ ファカルティ・ディベロップメント（FD）活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。	(1) どのようなFD活動を実施し、その結果をどう活用しているか。（学部／研究科それぞれ別にFD活動を実施する必要がある。）			
		⑤ 教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) 教員組織の編成方針、FD活動の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準7	学生支援	② 学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制は整備されているか。また、学生支援は適切に行われているか。	(1)多様な背景をもつ学生に対する具体的な対応、補習教育、補充教育および成績不良学生の状況把握など、修学に対する支援の実施。			
		③ 学生支援の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)学生への就学支援の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			
基準9	社会連携・社会貢献	② 社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。	(1)社会連携・社会貢献に関する取り組み、地域交流、国際交流事業、卒業生との連携を行っているか。【2018年度学長方針】	中高生も対象としたオーラルインタープリテーションフェスティバルは、社会連携・社会貢献、特に中高大の交流を促すものとして評価できる。		
		③ 社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)その取り組みの適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			

2018年度自己点検・評価報告書 意見・指示および改善計画書

学部・学科/研究科・専攻

外国語学部・スペイン・ラテン
アメリカ学科

評価基準	点検・評価項目	南山大学の 「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準1	理念・目的	① 大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	学部・研究科の目的が設定され、公表されていることを前提に、その内容および大学の理念・目的と関連しているか。			
基準4	教育課程・学習成果	② 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	(1) ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーが整合しているか。			
		③ 教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1) 開設している授業科目が、科目の位置付け、配置年次などを含め、カリキュラム・ポリシーと整合しているか。			
			(2) 学部は、初年次教育、共通教育科目と専門科目の連携。			
			(3) 研究科は、コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮。			
			(4) 専門職大学院は、理論教育と実務教育の適切な配置。			
④ 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	(1) 留学プログラムの充実 【2018年度学長方針】	短期留学プログラムへの参加が、長期留学に繋がっていること、着実に展開し発展している点が評価できる。				
	(2) 学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容および授業方法					
	(3) 学部は、e-ポートフォリオやWebclassなどによる履修指導					
	(4) 研究科は、研究指導計画の明示とそれに基づく研究指導の実施					
	(5) 専門職大学院は、実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導の実施					

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入	
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画	
	⑤ 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1)成績評価の客観性、厳格性を担保するための措置					
		(2)学位授与に係る責任体制					
		(3)研究科は、学位論文審査基準、学位審査および修了認定の客観性および厳格性を担保する措置					
	⑥ 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)学習成果の測定をどのような方法で行っているか。 (例えば、アセスメントテスト、ルーブリックを活用した測定、学生調査など。)	学修成果を把握する手段のひとつとして、「外国語能力検定試験の受験および取得状況」について、アンケート調査を実施するなど、多角的かつ客観的な要素を取り入れて学習成果を測定している点は評価できる。				
⑦ 教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについて、どのように検証しているか。						
	(2)カリキュラム・ポリシーと授業科目の整合性について、どのような方法で検証を行っているか。						
基準5	学生の受け入れ	② 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。	(1)留学生の受入れを促進するための制度改革をしているか 【2018年度学長方針】				
		③ 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1)研究科は、入学者を増やす取り組みをしているか 【2018年度学長方針】				
		④ 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したアドミッション・ポリシーについて、どのように検証しているか。				

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準6 教員・教員組織	② 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。	(1)人事計画に沿った教員の組織編制ができているか。				
	④ ファカルティ・ディベロップメント（FD）活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。	(1)どのようなFD活動を実施し、その結果をどう活用しているか。（学部／研究科それぞれ別にFD活動を実施する必要がある。）			他の学科では非常勤講師を含めた教員の意見交換の機会が設けられているところがある。参考にしてほしいと思います。	学科の言語コーディネーター教員の呼びかけにより、同教員と言語科目担当の先生方が個別に意見交換する場は持つことができた。が、学科教員・非常勤の先生方全体で、直接意見交換する機会を設けることについては、検討はしたものの、授業期間中は各教員の出講曜日・時間が異なること、期間外は非常勤の先生方に交通費支給なしでおいでいただくのは難しいという事情があるため、具体的計画立案および実施には至らなかった。今後も検討を継続する。
	⑤ 教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)教員組織の編成方針、FD活動の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。				

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準7	学生支援	② 学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制は整備されているか。また、学生支援は適切に行われているか。	(1)多様な背景をもつ学生に対する具体的対応、補習教育、補充教育および成績不良学生の状況把握など、修学に対する支援の実施。			
		③ 学生支援の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)学生への就学支援の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			
基準9	社会連携・社会貢献	② 社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。	(1)社会連携・社会貢献に関する取り組み、地域交流、国際交流事業、卒業生との連携を行っているか。 【2018年度学長方針】			
		③ 社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)その取り組みの適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			

2018年度自己点検・評価報告書 意見・指示および改善計画書

		学部・学科/研究科・専攻			外国語学部・フランス学科		
評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入	
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画	
基準1	理念・目的	① 大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	学部・研究科の目的が設定され、公表されていることを前提に、その内容および大学の理念・目的と関連しているか。				
基準4	教育課程・学習成果	② 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	(1) ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーが整合しているか。				
		③ 教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1) 開設している授業科目が、科目の位置付け、配置年次などを含め、カリキュラム・ポリシーと整合しているか。	カリキュラムポリシーに則してカリキュラムの見直しをなされ、結果として学生のプレゼンテーション力が向上していること。			
			(2) 学部は、初年次教育、共通教育科目と専門科目の連携。				
			(3) 研究科は、コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮。				
			(4) 専門職大学院は、理論教育と実務教育の適切な配置。				
④ 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	(1) 留学プログラムの充実 【2018年度学長方針】	短期留学を経験できる学生数を大幅に増やすことが可能となったこと、海外フィールドワークによって、学生の勉学モチベーションの向上が見られる点は、評価できる。	「海外フィールドワーク」に参加できなかった学生の追跡調査やフォローのための措置の検討を行う体制の整備を具体化する必要があるのではないだろうか。				
	(2) 学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容および授業方法						
	(3) 学部は、e-ポートフォリオやWebclassなどによる履修指導						
	(4) 研究科は、研究指導計画の明示とそれに基づく研究指導の実施						
	(5) 専門職大学院は、実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導の実施						

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
	⑤ 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1)成績評価の客観性、厳格性を担保するための措置 (2)学位授与に係る責任体制 (3)研究科は、学位論文審査基準、学位審査および修了認定の客観性および厳格性を担保する措置				
	⑥ 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)学習成果の測定をどのような方法で行っているか。 (例えば、アセスメントテスト、ルーブリックを活用した測定、学生調査など。)	TCFを活用し、その時点でのフランス語運用能力を評価していること、また、フランス語検定試験やDELF・DALFなどの外部検定試験の受験を奨励し、毎年合格者数を把握し、教育内容の適切性を検討する際に活用していることが、評価できる。			
	⑦ 教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについて、どのように検証しているか。 (2)カリキュラム・ポリシーと授業科目の整合性について、どのような方法で検証を行っているか。				
基準5	学生の受け入れ	② 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。	(1)留学生の受け入れを促進するための制度改革をしているか 【2018年度学長方針】			
	③ 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1)研究科は、入学者を増やす取り組みをしているか 【2018年度学長方針】				
	④ 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したアドミッション・ポリシーについて、どのように検証しているか。				

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準6	教員・教員組織	② 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。	(1)人事計画に沿った教員の組織編制ができているか。	人事計画に沿って、年齢、研究分野などにおいてバランスの取れた教員構成ができている点が評価できる。		
		④ ファカルティ・ディベロップメント（FD）活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。	(1)どのようなFD活動を実施し、その結果をどう活用しているか。（学部/研究科それぞれ別にFD活動を実施する必要がある。）			
		⑤ 教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)教員組織の編成方針、FD活動の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			
基準7	学生支援	② 学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制は整備されているか。また、学生支援は適切に行われているか。	(1)多様な背景をもつ学生に対する具体的対応、補習教育、補充教育および成績不良学生の状況把握など、修学に対する支援の実施。			
		③ 学生支援の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)学生への就学支援の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			
基準9	社会連携・社会貢献	② 社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。	(1)社会連携・社会貢献に関する取り組み、地域交流、国際交流事業、卒業生との連携を行っているか。【2018年度学長方針】	フランス語劇を通じた地域交流、本学のフランス人留学生との国際交流、公益財団法人フランス語教育振興会が実施する実用フランス語技能検定試験の会場運営を行っていることは、社会貢献・社会連携を促すものとして評価できる。		
		③ 社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)その取り組みの適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			

2018年度自己点検・評価報告書 意見・指示および改善計画書

				学部・学科/研究科・専攻			外国語学部・ドイツ学科
評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入	
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画	
基準1	理念・目的	① 大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	学部・研究科の目的が設定され、公表されていることを前提に、その内容および大学の理念・目的と関連しているか。				
基準4	教育課程・学習成果	② 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	(1) ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーが整合しているか。				
		③ 教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1) 開設している授業科目が、科目の位置付け、配置年次などを含め、カリキュラム・ポリシーと整合しているか。				
			(2) 学部は、初年次教育、共通教育科目と専門科目の連携。				
			(3) 研究科は、コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮。				
			(4) 専門職大学院は、理論教育と実務教育の適切な配置。				
④ 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	(1) 留学プログラムの充実 【2018年度学長方針】	「海外フィールドワーク」が学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置として有効に機能していることの証左と考えられ、評価できる。					
	(2) 学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容および授業方法						
	(3) 学部は、e-ポートフォリオやWebclassなどによる履修指導						
	(4) 研究科は、研究指導計画の明示とそれに基づく研究指導の実施						
	(5) 専門職大学院は、実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導の実施						

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
	⑤ 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1)成績評価の客観性、厳格性を担保するための措置				
		(2)学位授与に係る責任体制				
		(3)研究科は、学位論文審査基準、学位審査および修了認定の客観性および厳格性を担保する措置				
	⑥ 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)学習成果の測定をどのような方法で行っているか。 (例えば、アセスメントテスト、ルーブリックを活用した測定、学生調査など。)	学修成果を把握する手段のひとつとして、「ドイツ学科作成の検定試験 合格申告用紙」を用いて行っていることが評価できる。			
	⑦ 教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについて、どのように検証しているか。			各種公的なドイツ語検定試験合格者、留学奨学金受給者、スピーチコンテスト受賞者等に関する情報の整理・共有のためのシートの周知に加え、活用する仕組みの検討が望まれます。	各種公的なドイツ語検定試験合格者、留学奨学金受給者、スピーチコンテスト受賞者、ドイツ語圏インターンシップ参加者等には、ドイツ学科合研に来て「語学検定・奨学金等取得届」「ドイツ語圏に関わるインターンシップ実施届」を記入・提出するよう、ガイダンスや授業を通じて学生にたびたび呼びかけるとともに、毎年その集計結果をとりまとめて学科会議で共有し、今後の教育のさらなる改善に役立てる。
(2)カリキュラム・ポリシーと授業科目の整合性について、どのような方法で検証を行っているか。						

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準5	学生の受け入れ	② 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学選抜を公正に実施しているか。	(1) 留学生の受入れを促進するための制度改革をしているか 【2018年度学長方針】			
		③ 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1) 研究科は、入学者を増やす取り組みをしているか【2018年度学長方針】			
		④ 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) 2017年度に改正したアドミッション・ポリシーについて、どのように検証しているか。			
基準6	教員・教員組織	② 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。	(1) 人事計画に沿った教員の組織編制ができているか。			
		④ ファカルティ・ディベロップメント（FD）活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。	(1) どのようなFD活動を実施し、その結果をどう活用しているか。（学部／研究科それぞれ別にFD活動を実施する必要がある。）	教員が学外の講習、研修などに積極的に参加し、研鑽している点が評価できる。		
		⑤ 教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) 教員組織の編成方針、FD活動の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入	
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画	
基準7	学生支援	② 学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制は整備されているか。また、学生支援は適切に行われているか。	(1)多様な背景をもつ学生に対する具体的対応、補習教育、補充教育および成績不良学生の状況把握など、修学に対する支援の実施。				
		③ 学生支援の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)学生への就学支援の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。				
基準9	社会連携・社会貢献	② 社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。	(1)社会連携・社会貢献に関する取り組み、地域交流、国際交流事業、卒業生との連携を行っているか。【2018年度学長方針】				
		③ 社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)その取り組みの適切性について、どのような方法で検証を行っているか。				

2018年度自己点検・評価報告書 意見・指示および改善計画書

				学部・学科/研究科・専攻			外国語学部・アジア学科
評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入	
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画	
基準1	理念・目的	① 大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	学部・研究科の目的が設定され、公表されていることを前提に、その内容および大学の理念・目的と関連しているか。				
基準4	教育課程・学習成果	② 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	(1) ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーが整合しているか。				
		③ 教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1) 開設している授業科目が、科目の位置付け、配置年次などを含め、カリキュラム・ポリシーと整合しているか。				
			(2) 学部は、初年次教育、共通教育科目と専門科目の連携。				
	(3) 研究科は、コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮。						
	(4) 専門職大学院は、理論教育と実務教育の適切な配置。						
	④ 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	(1) 留学プログラムの充実 【2018年度学長方針】	「海外フィールドワークに参加した2年生から次年度に長期留学をする」意志を有する学生が出てきたという点が評価できる。				
		(2) 学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容および授業方法					
(3) 学部は、e-ポートフォリオやWebclassなどによる履修指導							
(4) 研究科は、研究指導計画の明示とそれに基づく研究指導の実施							
		(5) 専門職大学院は、実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導の実施					

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
	⑤ 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1)成績評価の客観性、厳格性を担保するための措置	同一範囲、同一問題、同一基準で評価し、客観性と厳格性は担保している点が評価できる。			
		(2)学位授与に係る責任体制	卒業論文の評価体制が、学位授与に係る責任体制 という視点に適合的であり、かつ透明性を確保するためにも有効であり、評価できる。			
		(3)研究科は、学位論文審査基準、学位審査および修了認定の客観性および厳格性を担保する措置				
	⑥ 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)学習成果の測定をどのような方法で行っているか。 (例えば、アセスメントテスト、ルーブリックを活用した測定、学生調査など。)		3年次以降の中国語科目およびインドネシア語科目は選択科目となっているために、履修していない学科生の到達水準を把握できていないという問題に対して、カリキュラムの再編も含めて、改善措置を講じる必要があると思います。	3年次以降の中国語科目およびインドネシア語科目は選択科目となっているために、履修していない学科生の到達水準を把握できていないという問題に対して、カリキュラムの再編も含めて、改善措置を講じる必要があると思います。	学生の外国語運用能力を把握するためには、客観的な物差しとして中国語検定やHSK等の外部試験の合格状況を報告させることと、各ゼミにおいて外国語文献の読解力を確認することをともに実施することが有効である。19年度は、授業期間も終わりに近づいているが、各ゼミの担当教員を通じて、これに関する学生の状況を年度末の学科会議で報告できるように準備を進める。また20年度以降については、外部試験の実施日を見ながら適切な時期にアンケートを行うとともに、ゼミ担当教員からの報告と合わせて学科会議で到達水準の共有を図ることとする。
	⑦ 教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについて、どのように検証しているか。				
		(2)カリキュラム・ポリシーと授業科目の整合性について、どのような方法で検証を行っているか。				

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準5	学生の受け入れ	② 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学選抜を公正に実施しているか。	(1) 留学生の受入れを促進するための制度改革をしているか 【2018年度学長方針】			
		③ 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1) 研究科は、入学者を増やす取り組みをしているか【2018年度学長方針】			
		④ 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) 2017年度に改正したアドミッション・ポリシーについて、どのように検証しているか。			
基準6	教員・教員組織	② 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。	(1) 人事計画に沿った教員の組織編制ができているか。			
		④ ファカルティ・ディベロップメント（FD）活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。	(1) どのようなFD活動を実施し、その結果をどう活用しているか。（学部／研究科それぞれ別にFD活動を実施する必要がある。）	非常勤講師との意思疎通が効果的に おこなわれている点が評価できる。		
		⑤ 教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) 教員組織の編成方針、FD活動の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準7	学生支援	② 学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制は整備されているか。また、学生支援は適切に行われているか。	(1)多様な背景をもつ学生に対する具体的対応、補習教育、補充教育および成績不良学生の状況把握など、修学に対する支援の実施。			
		③ 学生支援の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)学生への就学支援の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			
基準9	社会連携・社会貢献	② 社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。	(1)社会連携・社会貢献に関する取り組み、地域交流、国際交流事業、卒業生との連携を行っているか。【2018年度学長方針】	毎年11月にインドネシア語スピーチコンテストを主催していることは、インドネシア語による朗読やスピーチを通じた国内の他大学や高等学校等との交流を促すものとして評価できる。		
		③ 社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)その取り組みの適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			

2018年度自己点検・評価報告書 意見・指示および改善計画書

		学部・学科/研究科・専攻			経済学部・経済学科	
評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準1	理念・目的	① 大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	学部・研究科の目的が設定され、公表されていることを前提に、その内容および大学の理念・目的と関連しているか。			
基準4	教育課程・学習成果	② 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	(1) ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーが整合しているか。			
		③ 教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1) 開設している授業科目が、科目の位置付け、配置年次などを含め、カリキュラム・ポリシーと整合しているか。			
			(2) 学部は、初年次教育、共通教育科目と専門科目の連携。			
			(3) 研究科は、コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮。			
			(4) 専門職大学院は、理論教育と実務教育の適切な配置。			
④ 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	(1) 留学プログラムの充実 【2018年度学長方針】	「帰国報告レポートには「語学力はもちろんコミュニケーション力が身についた」「自主性が養われた」など、学習効果とともに人間的成長もうかがわせる記述」があったとの具体的事例は、「④ 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置」の一つとして、評価できる。				
	(2) 学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容および授業方法					
	(3) 学部は、e-ポートフォリオやWebclassなどによる履修指導					
	(4) 研究科は、研究指導計画の明示とそれに基づく研究指導の実施					
	(5) 専門職大学院は、実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導の実施					

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
	⑤ 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1)成績評価の客観性、厳格性を担保するための措置 (2)学位授与に係る責任体制 (3)研究科は、学位論文審査基準、学位審査および修了認定の客観性および厳格性を担保する措置	複数クラス開講の必修科目について「担当教員間の申し合せ」を定めていること。また、成績分布を教授会で共有し、平準化を図っていることは、評価できる。			
	⑥ 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)学習成果の測定をどのような方法で行っているか。 (例えば、アセスメントテスト、ルーブリックを活用した測定、学生調査など。)	学修成果を把握する手段のひとつとして、「学生生活とその成果」について、アンケート調査を実施していることは評価できる。			
	⑦ 教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについて、どのように検証しているか。 (2)カリキュラム・ポリシーと授業科目の整合性について、どのような方法で検証を行っているか。		DPとCPの検証方法が、出席者全員が再度読み直し…変更の必要性がないことを確認した一では、不十分と思われれます。		
基準5	学生の受け入れ ② 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学選抜を公正に実施しているか。	(1)留学生の受入れを促進するための制度改革をしているか 【2018年度学長方針】				
	③ 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を取容定員に基づき適正に管理しているか。	(1)研究科は、入学者を増やす取り組みをしているか【2018年度学長方針】				
	④ 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したアドミッション・ポリシーについて、どのように検証しているか。				

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準6	教員・教員組織	② 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。	(1)人事計画に沿った教員の組織編制ができているか。			
		④ ファカルティ・ディベロップメント（FD）活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。	(1)どのようなFD活動を実施し、その結果をどう活用しているか。（学部/研究科それぞれ別にFD活動を実施する必要がある。）			
		⑤ 教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)教員組織の編成方針、FD活動の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			
基準7	学生支援	② 学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制は整備されているか。また、学生支援は適切に行われているか。	(1)多様な背景をもつ学生に対する具体的対応、補習教育、補充教育および成績不良学生の状況把握など、修学に対する支援の実施。	2009年度から必修科目の「経済学のための数学」において、また2012年度からは経済外国語科目の「時事英語」および「ビジネス英語」において、能力別クラス編成を行っていることは、学力に応じた適正な学生支援として評価できる。		
		③ 学生支援の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)学生への就学支援の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			
基準9	社会連携・社会貢献	② 社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。	(1)社会連携・社会貢献に関する取り組み、地域交流、国際交流事業、卒業生との連携を行っているか。【2018年度学長方針】	東海財務局の寄付講座「経済政策論」、外務省「外交講座」を受け入れていることは、社会連携の適正な取り組みとして評価できる。		
		③ 社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)その取り組みの適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			

2018年度自己点検・評価報告書 意見・指示および改善計画書

		学部・学科/研究科・専攻			経営学部・経営学科		
評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入	
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画	
基準1	理念・目的	① 大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	学部・研究科の目的が設定され、公表されていることを前提に、その内容および大学の理念・目的と関連しているか。				
基準4	教育課程・学習成果	② 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	(1) ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーが整合しているか。				
		③ 教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1) 開設している授業科目が、科目の位置付け、配置年次などを含め、カリキュラム・ポリシーと整合しているか。				
			(2) 学部は、初年次教育、共通教育科目と専門科目の連携。				
			(3) 研究科は、コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮。				
			(4) 専門職大学院は、理論教育と実務教育の適切な配置。				
		④ 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	(1) 留学プログラムの充実 【2018年度学長方針】	「経営学部短期海外留学プログラム」として「ビジネス英語海外研修」を実施し、単位化している」点、および、参加者は募集人数と一致する15名であった点、また、同「プログラムはJASSOの助成を受けている」点など、評価できる。			
	(2) 学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容および授業方法	産学連携の取り組みがなされ、その成果が表れていることが、評価できる。					
	(3) 学部は、e-ポートフォリオやWebclassなどによる履修指導						
	(4) 研究科は、研究指導計画の明示とそれに基づく研究指導の実施						
	(5) 専門職大学院は、実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導の実施						

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
	⑤ 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1)成績評価の客観性、厳格性を担保するための措置 (2)学位授与に係る責任体制 (3)研究科は、学位論文審査基準、学位審査および修了認定の客観性および厳格性を担保する措置				
	⑥ 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)学習成果の測定をどのような方法で行っているか。 (例えば、アセスメントテスト、ルーブリックを活用した測定、学生調査など。)		学習成果の測定方法について、学部としての枠組み、指針の設定等を論議する必要がある。		
	⑦ 教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについて、どのように検証しているか。 (2)カリキュラム・ポリシーと授業科目の整合性について、どのような方法で検証を行っているか。	1年次対象アンケートを実施し、大学の卒業生アンケートの結果とともに、検証材料として活用していることが評価できる。			
基準5	学生の受け入れ	② 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。	(1)留学生の受け入れを促進するための制度改革をしているか 【2018年度学長方針】			
		③ 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1)研究科は、入学者を増やす取り組みをしているか 【2018年度学長方針】			
		④ 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したアドミッション・ポリシーについて、どのように検証しているか。			

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準6	教員・教員組織	② 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。	(1)人事計画に沿った教員の組織編制ができているか。			
		④ ファカルティ・ディベロップメント（FD）活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。	(1)どのようなFD活動を実施し、その結果をどう活用しているか。（学部/研究科それぞれ別にFD活動を実施する必要がある。）			
		⑤ 教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)教員組織の編成方針、FD活動の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			
基準7	学生支援	② 学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制は整備されているか。また、学生支援は適切に行われているか。	(1)多様な背景をもつ学生に対する具体的対応、補習教育、補充教育および成績不良学生の状況把握など、修学に対する支援の実施。			
		③ 学生支援の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)学生への就学支援の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			
基準9	社会連携・社会貢献	② 社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。	(1)社会連携・社会貢献に関する取り組み、地域交流、国際交流事業、卒業生との連携を行っているか。【2018年度学長方針】	中部経済連合会が会員企業からの講師派遣などを行う「企業・人材プール」を活用した産学連携を行っていることは、社会連携・社会貢献とともに、大学でのキャリア教育充実を促すものとして評価できる。		
		③ 社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)その取り組みの適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			

2018年度自己点検・評価報告書 意見・指示および改善計画書

		学部・学科/研究科・専攻			法学部・法律学科	
評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準1	理念・目的	① 大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	学部・研究科の目的が設定され、公表されていることを前提に、その内容および大学の理念・目的と関連しているか。	初年時に法律学の基礎となるスキルを修得できるよう、学部統一のテキストを作成していることが、評価できる。		
基準4	教育課程・学習成果	② 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	(1) ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーが整合しているか。			
		③ 教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1) 開設している授業科目が、科目の位置付け、配置年次などを含め、カリキュラム・ポリシーと整合しているか。 (2) 学部は、初年次教育、共通教育科目と専門科目の連携。 (3) 研究科は、コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮。 (4) 専門職大学院は、理論教育と実務教育の適切な配置。			
		④ 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	(1) 留学プログラムの充実 【2018年度学長方針】 (2) 学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容および授業方法 (3) 学部は、e-ポートフォリオやWebclassなどによる履修指導 (4) 研究科は、研究指導計画の明示とそれに基づく研究指導の実施 (5) 専門職大学院は、実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導の実施			
					言及がされていないので、現状の分析と今後の方針などの策定が必要だと思います。	本学においては統一したインフラや指針がなく、かつ主要な他大学の法学部においてもシステム導入事例がないことから、現状では未検討であった。そこで、新たに新設した司法特修コース所属の学生に対しては、事実上、憲法、民法、刑法を必修とし、それ以外の科目も体系的に履修できるよう、時間割、科目の配置を整備した。行政・ビジネスコース所属の学生に対しては、従来通り自らの進路を踏まえ自由な科目履修を行える制度を維持している。そこで、司法特修コース完成年度までは、当該コース在籍者を限定に、各学生のポートフォリオ完成進捗状況管理し、指導を試行する（卒業年次までに各自が構築過程にある「ポートフォリオ」をモニタリングし、進捗管理・指導を行う）。なお、学内システムが構築された段階で、司法特修コースで試行したポートフォリオ管理をE-ポートフォリオに移行するとともに、その対象範囲を拡大することを検討する。

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
	⑤ 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1)成績評価の客観性、厳格性を担保するための措置 (2)学位授与に係る責任体制 (3)研究科は、学位論文審査基準、学位審査および修了認定の客観性および厳格性を担保する措置				
	⑥ 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)学習成果の測定をどのような方法で行っているか。 (例えば、アセスメントテスト、ルーブリックを活用した測定、学生調査など。)	成績評価を教授会で開示し、妥当性について、意見交換をしていることが評価できる。			
	⑦ 教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについて、どのように検証しているか。 (2)カリキュラム・ポリシーと授業科目の整合性について、どのような方法で検証を行っているか。				
基準5	学生の受け入れ	② 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。 ③ 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。 ④ 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)留学生の受け入れを促進するための制度改革をしているか【2018年度学長方針】 (1)研究科は、入学者を増やす取り組みをしているか【2018年度学長方針】 (1)2017年度に改正したアドミッション・ポリシーについて、どのように検証しているか。			

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準6	教員・教員組織	② 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。	(1) 人事計画に沿った教員の組織編制ができているか。			
		④ ファカルティ・ディベロップメント（FD）活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。	(1) どのようなFD活動を実施し、その結果をどう活用しているか。（学部/研究科それぞれ別にFD活動を実施する必要がある。）			
		⑤ 教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) 教員組織の編成方針、FD活動の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			
基準7	学生支援	② 学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制は整備されているか。また、学生支援は適切に行われているか。	(1) 多様な背景をもつ学生に対する具体的対応、補習教育、補充教育および成績不良学生の状況把握など、修学に対する支援の実施。	法学学科共通のテキスト（「ベーシック演習 テキスト&マテリアルズ」）を用い、法律学科の1年次生の基礎教育を実施していることは、高校教育までで取扱われない法律学の学習にスムーズに導入できるものとして評価できる。		
		③ 学生支援の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) 学生への就学支援の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			
基準9	社会連携・社会貢献	② 社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。	(1) 社会連携・社会貢献に関する取り組み、地域交流、国際交流事業、卒業生との連携を行っているか。【2018年度学長方針】			
		③ 社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) その取り組みの適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			

2018年度自己点検・評価報告書 意見・指示および改善計画書

		学部・学科/研究科・専攻			総合政策学部・総合政策学科	
評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準1	理念・目的	① 大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	学部・研究科の目的が設定され、公表されていることを前提に、その内容および大学の理念・目的と関連しているか。			
基準4	教育課程・学習成果	② 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	(1) ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーが整合しているか。			
		③ 教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1) 開設している授業科目が、科目の位置付け、配置年次などを含め、カリキュラム・ポリシーと整合しているか。			
			(2) 学部は、初年次教育、共通教育科目と専門科目の連携。			
			(3) 研究科は、コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮。			
	④ 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	(4) 専門職大学院は、理論教育と実務教育の適切な配置。				
(1) 留学プログラムの充実 【2018年度学長方針】		NAPのカリキュラム上の位置づけが変更されたとのことであるが、語学学習のみならず海外でのフィールド調査の実施機会として有効に機能していることが評価できる。				
(2) 学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容および授業方法						
(3) 学部は、e-ポートフォリオやWebclassなどによる履修指導						
(4) 研究科は、研究指導計画の明示とそれに基づく研究指導の実施						
		(5) 専門職大学院は、実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導の実施				

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
	⑤ 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1)成績評価の客観性、厳格性を担保するための措置 (2)学位授与に係る責任体制 (3)研究科は、学位論文審査基準、学位審査および修了認定の客観性および厳格性を担保する措置			学生の学習成果について、客観的測定の可能性を検討することなので、できるだけ早急の検討を期待します。	まずは春学期中に学部懇談会等で検討を開始する。
	⑥ 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)学習成果の測定をどのような方法で行っているか。 (例えば、アセスメントテスト、ルーブリックを活用した測定、学生調査など。)				
	⑦ 教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについて、どのように検証しているか。 (2)カリキュラム・ポリシーと授業科目の整合性について、どのような方法で検証を行っているか。				
基準5	学生の受け入れ ② 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。	(1)留学生の受入れを促進するための制度改革をしているか 【2018年度学長方針】	外国人留学生A0方式入学審査に積極的に取り組んでいる点が評価できる。			
	③ 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1)研究科は、入学者を増やす取り組みをしているか【2018年度学長方針】				
	④ 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したアドミッション・ポリシーについて、どのように検証しているか。				

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準6 教員・教員組織	② 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。	(1)人事計画に沿った教員の組織編制ができているか。				
	④ ファカルティ・ディベロップメント（FD）活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。	(1)どのようなFD活動を実施し、その結果をどう活用しているか。（学部／研究科それぞれ別にFD活動を実施する必要がある。）				
	⑤ 教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)教員組織の編成方針、FD活動の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。				
基準7 学生支援	② 学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制は整備されているか。また、学生支援は適切に行われているか。	(1)多様な背景をもつ学生に対する具体的対応、補習教育、補充教育および成績不良学生の状況把握など、修学に対する支援の実施。				
	③ 学生支援の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)学生への就学支援の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。				
基準9 社会連携・社会貢献	② 社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。	(1)社会連携・社会貢献に関する取り組み、地域交流、国際交流事業、卒業生との連携を行っているか。【2018年度学長方針】				
	③ 社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)その取り組みの適切性について、どのような方法で検証を行っているか。				

2018年度自己点検・評価報告書 意見・指示および改善計画書

		学部・学科/研究科・専攻			理工学部	
評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準1	理念・目的	① 大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	学部・研究科の目的が設定され、公表されていることを前提に、その内容および大学の理念・目的と関連しているか。			
基準4	教育課程・学習成果	② 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	(1) ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーが整合しているか。			
		③ 教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1) 開設している授業科目が、科目の位置付け、配置年次などを含め、カリキュラム・ポリシーと整合しているか。			
			(2) 学部は、初年次教育、共通教育科目と専門科目の連携。			
			(3) 研究科は、コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮。			
			(4) 専門職大学院は、理論教育と実務教育の適切な配置。			
④ 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	(1) 留学プログラムの充実 【2018年度学長方針】	学生の学習を活性化させるべく、短期留学プログラムの実施、座学だけでなく演習・課題を組合わせた授業の実施、および、効果的な教育のためのWebClassの利用など、評価できる取り組みを実施している。				
	(2) 学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容および授業方法					
	(3) 学部は、e-ポートフォリオやWebclassなどによる履修指導					
	(4) 研究科は、研究指導計画の明示とそれに基づく研究指導の実施					
	(5) 専門職大学院は、実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導の実施					

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
	⑤ 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1)成績評価の客観性、厳格性を担保するための措置 (2)学位授与に係る責任体制 (3)研究科は、学位論文審査基準、学位審査および修了認定の客観性および厳格性を担保する措置				
	⑥ 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)学習成果の測定をどのような方法で行っているか。(例えば、アセスメントテスト、ルーブリックを活用した測定、学生調査など。)	ディプロマポリシーとカリキュラムポリシー、カリキュラムポリシーと授業科目との生成の検証に関し、学部独自に外部評価委員会を設けている点が評価できる。			
	⑦ 教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについて、どのように検証しているか。 (2)カリキュラム・ポリシーと授業科目の整合性について、どのような方法で検証を行っているか。	学部外部評価委員会を開催し、外部委員から評価を受けていることが評価できる。			
基準5	学生の受け入れ ② 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学選抜を公正に実施しているか。	(1)留学生の受け入れを促進するための制度改革をしているか 【2018年度学長方針】				
	③ 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1)研究科は、入学者を増やす取り組みをしているか 【2018年度学長方針】				
	④ 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したアドミッション・ポリシーについて、どのように検証しているか。				

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準6	教員・教員組織	② 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。	(1) 人事計画に沿った教員の組織編制ができているか。			
		④ ファカルティ・ディベロップメント（FD）活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。	(1) どのようなFD活動を実施し、その結果をどう活用しているか。（学部/研究科それぞれ別にFD活動を実施する必要がある。）			
		⑤ 教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) 教員組織の編成方針、FD活動の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			
基準7	学生支援	② 学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制は整備されているか。また、学生支援は適切に行われているか。	(1) 多様な背景をもつ学生に対する具体的対応、補習教育、補充教育および成績不良学生の状況把握など、修学に対する支援の実施。			
		③ 学生支援の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) 学生への就学支援の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			
基準9	社会連携・社会貢献	② 社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。	(1) 社会連携・社会貢献に関する取り組み、地域交流、国際交流事業、卒業生との連携を行っているか。【2018年度学長方針】			
		③ 社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) その取り組みの適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			

2018年度自己点検・評価報告書 意見・指示および改善計画書

		学部・学科/研究科・専攻			理工学部・システム数理学科	
評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準1	理念・目的	① 大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	学部・研究科の目的が設定され、公表されていることを前提に、その内容および大学の理念・目的と関連しているか。			
基準4	教育課程・学習成果	② 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	(1) ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーが整合しているか。			
		③ 教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1) 開設している授業科目が、科目の位置付け、配置年次などを含め、カリキュラム・ポリシーと整合しているか。			
			(2) 学部は、初年次教育、共通教育科目と専門科目の連携。			
			(3) 研究科は、コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮。			
			(4) 専門職大学院は、理論教育と実務教育の適切な配置。			
④ 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	(1) 留学プログラムの充実 【2018年度学長方針】	学生の学習を活性化させるべく、短期留学プログラムの実施、座学だけでなく演習・課題を組合わせた授業の実施、および、効果的な教育のためのWebClassの利用など、評価できる取り組みを実施している。				
	(2) 学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容および授業方法					
	(3) 学部は、e-ポートフォリオやWebclassなどによる履修指導					
	(4) 研究科は、研究指導計画の明示とそれに基づく研究指導の実施					
	(5) 専門職大学院は、実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導の実施					

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
	⑤ 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1)成績評価の客観性、厳格性を担保するための措置 (2)学位授与に係る責任体制 (3)研究科は、学位論文審査基準、学位審査および修了認定の客観性および厳格性を担保する措置				
	⑥ 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)学習成果の測定をどのような方法で行っているか。 (例えば、アセスメントテスト、ルーブリックを活用した測定、学生調査など。)				
	⑦ 教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについて、どのように検証しているか。				
		(2)カリキュラム・ポリシーと授業科目の整合性について、どのような方法で検証を行っているか。				
基準5	学生の受け入れ	② 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。	(1)留学生の受け入れを促進するための制度改革をしているか 【2018年度学長方針】			
	③ 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1)研究科は、入学者を増やす取り組みをしているか 【2018年度学長方針】				
	④ 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したアドミッション・ポリシーについて、どのように検証しているか。				

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準6	教員・教員組織	② 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。	(1) 人事計画に沿った教員の組織編制ができているか。			
		④ ファカルティ・ディベロップメント（FD）活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。	(1) どのようなFD活動を実施し、その結果をどう活用しているか。（学部/研究科それぞれにFD活動を実施する必要がある。）			
		⑤ 教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) 教員組織の編成方針、FD活動の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			
基準7	学生支援	② 学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制は整備されているか。また、学生支援は適切に行われているか。	(1) 多様な背景をもつ学生に対する具体的対応、補習教育、補充教育および成績不良学生の状況把握など、修学に対する支援の実施。			
		③ 学生支援の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) 学生への就学支援の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			
基準9	社会連携・社会貢献	② 社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。	(1) 社会連携・社会貢献に関する取り組み、地域交流、国際交流事業、卒業生との連携を行っているか。【2018年度学長方針】			
		③ 社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) その取り組みの適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			

2018年度自己点検・評価報告書 意見・指示および改善計画書

		学部・学科/研究科・専攻			理工学部・ソフトウェア工学科	
評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準1	理念・目的	① 大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	学部・研究科の目的が設定され、公表されていることを前提に、その内容および大学の理念・目的と関連しているか。			
基準4	教育課程・学習成果	② 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	(1) ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーが整合しているか。			
		③ 教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1) 開設している授業科目が、科目の位置付け、配置年次などを含め、カリキュラム・ポリシーと整合しているか。			
			(2) 学部は、初年次教育、共通教育科目と専門科目の連携。			
			(3) 研究科は、コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮。			
			(4) 専門職大学院は、理論教育と実務教育の適切な配置。			
④ 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	(1) 留学プログラムの充実 【2018年度学長方針】	学生の学習を活性化させるべく、短期留学プログラムの実施、座学だけでなく演習・課題を組合わせた授業の実施、および、効果的な教育のためのWebClassの利用など、評価できる取り組みを実施している。				
	(2) 学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容および授業方法					
	(3) 学部は、e-ポートフォリオやWebclassなどによる履修指導					
	(4) 研究科は、研究指導計画の明示とそれに基づく研究指導の実施					
	(5) 専門職大学院は、実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導の実施					

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
	⑤ 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1)成績評価の客観性、厳格性を担保するための措置 (2)学位授与に係る責任体制 (3)研究科は、学位論文審査基準、学位審査および修了認定の客観性および厳格性を担保する措置				
	⑥ 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)学習成果の測定をどのような方法で行っているか。(例えば、アセスメントテスト、ルーブリックを活用した測定、学生調査など。)				
	⑦ 教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについて、どのように検証しているか。 (2)カリキュラム・ポリシーと授業科目の整合性について、どのような方法で検証を行っているか。				
基準5	学生の受け入れ ② 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。	(1)留学生の受け入れを促進するための制度改革をしているか 【2018年度学長方針】				
	③ 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1)研究科は、入学者を増やす取り組みをしているか【2018年度学長方針】				
	④ 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したアドミッション・ポリシーについて、どのように検証しているか。				
基準6	教員・教員組織 ② 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。	(1)人事計画に沿った教員の組織編制ができているか。				
	④ ファカルティ・ディベロップメント（FD）活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。	(1)どのようなFD活動を実施し、その結果をどう活用しているか。（学部/研究科それぞれ別にFD活動を実施する必要がある。）				
	⑤ 教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)教員組織の編成方針、FD活動の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。				

評価基準	点検・評価項目	南山大学の 「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準7	学生支援	② 学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制は整備されているか。また、学生支援は適切に行われているか。	(1) 多様な背景をもつ学生に対する具体的対応、補習教育、補充教育および成績不良学生の状況把握など、修学に対する支援の実施。			
		③ 学生支援の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) 学生への就学支援の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			
基準9	社会連携・社会貢献	② 社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。	(1) 社会連携・社会貢献に関する取り組み、地域交流、国際交流事業、卒業生との連携を行っているか。【2018年度学長方針】			
		③ 社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) その取り組みの適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			

2018年度自己点検・評価報告書 意見・指示および改善計画書

		学部・学科/研究科・専攻			理工学部・機械電子制御工学科	
評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準1	理念・目的	① 大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	学部・研究科の目的が設定され、公表されていることを前提に、その内容および大学の理念・目的と関連しているか。			
基準4	教育課程・学習成果	② 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	(1) ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーが整合しているか。			
		③ 教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1) 開設している授業科目が、科目の位置付け、配置年次などを含め、カリキュラム・ポリシーと整合しているか。			
			(2) 学部は、初年次教育、共通教育科目と専門科目の連携。			
			(3) 研究科は、コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮。			
			(4) 専門職大学院は、理論教育と実務教育の適切な配置。			
④ 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	(1) 留学プログラムの充実 【2018年度学長方針】 (2) 学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容および授業方法 (3) 学部は、e-ポートフォリオやWebclassなどによる履修指導 (4) 研究科は、研究指導計画の明示とそれに基づく研究指導の実施 (5) 専門職大学院は、実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導の実施					
⑤ 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1) 成績評価の客観性、厳格性を担保するための措置 (2) 学位授与に係る責任体制 (3) 研究科は、学位論文審査基準、学位審査および修了認定の客観性および厳格性を担保する措置					

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
	⑥ 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)学習成果の測定をどのような方法で行っているか。(例えば、アセスメントテスト、ルーブリックを活用した測定、学生調査など。)				
	⑦ 教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについて、どのように検証しているか。 (2)カリキュラム・ポリシーと授業科目の整合性について、どのような方法で検証を行っているか。	JABEEの取組みの中で学部外部評価委員会を設けることで、自主的に検証を行う仕組みを整えているなど、重層的また多角的に3つのポリシーに適合的な教育が実施されていることが保証されている点が評価できる。			
基準5	② 学生の受け入れ ② 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学選抜を公正に実施しているか。	(1)留学生の受入れを促進するための制度改革をしているか 【2018年度学長方針】				
	③ 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1)研究科は、入学者を増やす取り組みをしているか 【2018年度学長方針】				
	④ 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したアドミッション・ポリシーについて、どのように検証しているか。				
基準6	② 教員・教員組織 ② 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。	(1)人事計画に沿った教員の組織編制ができているか。				
	④ ファカルティ・ディベロップメント（FD）活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。	(1)どのようなFD活動を実施し、その結果をどう活用しているか。（学部/研究科それぞれ別にFD活動を実施する必要がある。）				
	⑤ 教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)教員組織の編成方針、FD活動の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。				

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準7	学生支援	② 学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制は整備されているか。また、学生支援は適切に行われているか。	(1) 多様な背景をもつ学生に対する具体的対応、補習教育、補充教育および成績不良学生の状況把握など、修学に対する支援の実施。			
		③ 学生支援の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) 学生への就学支援の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			
基準9	社会連携・社会貢献	② 社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。	(1) 社会連携・社会貢献に関する取り組み、地域交流、国際交流事業、卒業生との連携を行っているか。【2018年度学長方針】			
		③ 社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) その取り組みの適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			

2018年度自己点検・評価報告書 意見・指示および改善計画書

		学部・学科/研究科・専攻			国際教養学部・国際教養学科		
評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入	
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画	
基準1	理念・目的	① 大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	学部・研究科の目的が設定され、公表されていることを前提に、その内容および大学の理念・目的と関連しているか。	学部設置以降、学部構成員が、学部の理念・目的について話し合う機会を定期的に設けている点が評価できる。			
基準4	教育課程・学習成果	② 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	(1) ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーが整合しているか。				
		③ 教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1) 開設している授業科目が、科目の位置付け、配置年次などを含め、カリキュラム・ポリシーと整合しているか。				
			(2) 学部は、初年次教育、共通教育科目と専門科目の連携。				
			(3) 研究科は、コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮。				
			(4) 専門職大学院は、理論教育と実務教育の適切な配置。				
④ 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	(1) 留学プログラムの充実 【2018年度学長方針】	短期留学プログラムに100名を超える学生が参加し、成果を挙げている点は評価できる。また、同プログラムがQ2に実施されている点は、クウォーター制の利点を活かした企画であると言える点が評価できる。					
	(2) 学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容および授業方法						
	(3) 学部は、e-ポートフォリオやWebclassなどによる履修指導	e-ポートフォリオによる学習成果の把握に努めている点が評価できる。					
	(4) 研究科は、研究指導計画の明示とそれに基づく研究指導の実施						
	(5) 専門職大学院は、実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導の実施						

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
	⑤ 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1)成績評価の客観性、厳格性を担保するための措置 (2)学位授与に係る責任体制 (3)研究科は、学位論文審査基準、学位審査および修了認定の客観性および厳格性を担保する措置	複数クラス開講している科目では、コーディネーターを置いて、授業内容、成績評価について、相違が生じないようにしていることが評価できる。			
	⑥ 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)学習成果の測定をどのような方法で行っているか。 (例えば、アセスメントテスト、ルーブリックを活用した測定、学生調査など。)				
	⑦ 教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについて、どのように検証しているか。 (2)カリキュラム・ポリシーと授業科目の整合性について、どのような方法で検証を行っているか。				
基準5	学生の受け入れ ② 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。	(1)留学生の受け入れを促進するための制度改革をしているか 【2018年度学長方針】	学部独自に留学生のためのオープンキャンパスを行い、成果が現れている点が評価できる。			
	③ 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1)研究科は、入学者を増やす取り組みをしているか【2018年度学長方針】				
	④ 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したアドミッション・ポリシーについて、どのように検証しているか。				

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準6	教員・教員組織	② 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。	(1)人事計画に沿った教員の組織編制ができていないか。			
		④ ファカルティ・ディベロップメント（FD）活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。	(1)どのようなFD活動を実施し、その結果をどう活用しているか。（学部/研究科それぞれ別にFD活動を実施する必要がある。）			
		⑤ 教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)教員組織の編成方針、FD活動の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			
基準7	学生支援	② 学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制は整備されているか。また、学生支援は適切に行われているか。	(1)多様な背景をもつ学生に対する具体的対応、補習教育、補充教育および成績不良学生の状況把握など、修学に対する支援の実施。			
		③ 学生支援の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)学生への就学支援の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			
基準9	社会連携・社会貢献	② 社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。	(1)社会連携・社会貢献に関する取り組み、地域交流、国際交流事業、卒業生との連携を行っているか。【2018年度学長方針】	障がい者支援グループ「Iris」、タイ山地少数民族支援グループ「ルンアルン・プロジェクト」、英語スピーチ・グループ、岐阜県美濃加茂市「コミュニティFMらら」番組制作グループなどの様々な学生活動はいずれも積極的な社会貢献・社会連携を促すものとして評価できる。		
		③ 社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)その取り組みの適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			

2018年度自己点検・評価報告書 意見・指示および改善計画書

		学部・学科/研究科・専攻			短期大学部・英語科	
評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準1	理念・目的	① 大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	学部・研究科の目的が設定され、公表されていることを前提に、その内容および大学の理念・目的と関連しているか。			
基準4	教育課程・学習成果	② 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	(1) ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーが整合しているか。			
		③ 教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1) 開設している授業科目が、科目の位置付け、配置年次などを含め、カリキュラム・ポリシーと整合しているか。			
			(2) 学部は、初年次教育、共通教育科目と専門科目の連携。			
			(3) 研究科は、コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮。			
			(4) 専門職大学院は、理論教育と実務教育の適切な配置。			
④ 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	(1) 留学プログラムの充実 【2018年度学長方針】 (2) 学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容および授業方法 (3) 学部は、e-ポートフォリオやWebclassなどによる履修指導 (4) 研究科は、研究指導計画の明示とそれに基づく研究指導の実施 (5) 専門職大学院は、実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導の実施					

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
	⑤ 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1)成績評価の客観性、厳格性を担保するための措置	個別の学生の履修状況についての情報共有を非常勤講師も含めて実施していることなど、確実に、客観的かつ厳格な成績評価を実施している点は評価できる。			
		(2)学位授与に係る責任体制 (3)研究科は、学位論文審査基準、学位審査および修了認定の客観性および厳格性を担保する措置				
	⑥ 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)学習成果の測定をどのような方法で行っているか。 (例えば、アセスメントテスト、ルーブリックを活用した測定、学生調査など。)	学部として英語の到達度テスト(CASEC)を実施し、結果の共有、クオーターごとの独自授業評価や学生アンケート実施等、着実かつ客観的に学習成果を測定する努力を継続しており、評価できる。			
	⑦ 教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについて、どのように検証しているか。				
		(2)カリキュラム・ポリシーと授業科目の整合性について、どのような方法で検証を行っているか。				
基準5	② 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。	(1)留学生の受け入れを促進するための制度改革をしているか 【2018年度学長方針】				
	③ 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1)研究科は、入学者を増やす取り組みをしているか【2018年度学長方針】				
	④ 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したアドミッション・ポリシーについて、どのように検証しているか。				

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準6	教員・教員組織	② 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。	(1) 人事計画に沿った教員の組織編制ができているか。			
		④ ファカルティ・ディベロップメント（FD）活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。	(1) どのようなFD活動を実施し、その結果をどう活用しているか。（学部/研究科それぞれ別にFD活動を実施する必要がある。）			
		⑤ 教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) 教員組織の編成方針、FD活動の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			
基準7	学生支援	② 学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制は整備されているか。また、学生支援は適切に行われているか。	(1) 多様な背景をもつ学生に対する具体的対応、補習教育、補充教育および成績不良学生の状況把握など、修学に対する支援の実施。	2018年度残留生10名の多くが学力とメンタルの両方に問題を抱える中、元短期大学部教員からの協力も得ながら、献身的な学生対応がなされ、ほとんどの学生を卒業へと導いた事は評価できる。		
		③ 学生支援の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) 学生への就学支援の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			
基準9	社会連携・社会貢献	② 社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。	(1) 社会連携・社会貢献に関する取り組み、地域交流、国際交流事業、卒業生との連携を行っているか。【2018年度学長方針】			
		③ 社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) その取り組みの適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			

2018年度自己点検・評価報告書 意見・指示および改善計画書

				学部・学科/研究科・専攻	人間文化研究科		
評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入	
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画	
基準1	理念・目的	① 大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	学部・研究科の目的が設定され、公表されていることを前提に、その内容および大学の理念・目的と関連しているか。				
基準4	教育課程・学習成果	② 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	(1) ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーが整合しているか。			CPとして置かれた三つの科目群の一つである「研究科共通科目」の配置によって「各専攻の基礎や研究科共通の素養を涵養」という成果が得られているのかを検証する必要があるのではないのでしょうか。成果が得られているのであれば、それは「評価できる点」であり、改善方策として記された同科目の「重要性についても丁寧に説明する」必要があるということになると思います。	指摘されている点の検証方法として、年間2回実施している大学院生による授業評価のアンケート調査で、「研究科共通科目」についての満足度と、記述式のコメントを求めている。2019年2月から始めて、2020年2月で3回目の調査となる。研究科の自己点検・評価委員会においてその内容を検証しているが、今のところ回答数自体が少ない。2020年度以降、回答数が蓄積された時点で、成果と改善策について議論を深めたい。
		③ 教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1) 開設している授業科目が、科目の位置付け、配置年次などを含め、カリキュラム・ポリシーと整合しているか。			他大学との単位交換協定の実施が、どのような点において、CPと整合しているか、検証する必要があります。	他大学の受講にあたって、学生は本学指導教員と相談し、了承を得てから受講を申請するルールとなっている。その過程でCPとの整合性を含めて一定の判断がなされている。今後、大学間相互の受講状況について専攻主任会議・研究科委員会でも確認しながら、CPとの整合性上問題はないのか検証していく。
			(2) 学部は、初年次教育、共通教育科目と専門科目の連携。				
			(3) 研究科は、コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮。	「副領域制度」の導入によってコースワークとリサーチワークの適切な組み合わせによる幅広い知識の習得が可能になったことは、評価できる。			
		(4) 専門職大学院は、理論教育と実務教育の適切な配置。					

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
	④ 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	(1) 留学プログラムの充実 【2018年度学長方針】				
		(2) 学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容および授業方法				
		(3) 学部は、e-ポートフォリオやWebclassなどによる履修指導				
		(4) 研究科は、研究指導計画の明示とそれに基づく研究指導の実施				
		(5) 専門職大学院は、実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導の実施				
	⑤ 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1) 成績評価の客観性、厳格性を担保するための措置				
		(2) 学位授与に係る責任体制				
⑥ 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(3) 研究科は、学位論文審査基準、学位審査および修了認定の客観性および厳格性を担保する措置					
	(1) 学習成果の測定をどのような方法で行っているか。 (例えば、アセスメントテスト、ルーブリックを活用した測定、学生調査など。)					
⑦ 教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) 2017年度に改正したディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについて、どのように検証しているか。			DP、CPについての検証と授業評価アンケート項目の見直しとの関係について明確化する必要があると思います。	2019年度2回目の大学院生による授業評価において、従来からあるカリキュラムに関するアンケート項目のほかに、DPに関連した学習達成度を問う項目を追加することにした。2020年2月に調査を実施する。これを踏まえて、2020年度にはCP、DPと授業評価の関係について検証する。	
	(2) カリキュラム・ポリシーと授業科目の整合性について、どのような方法で検証を行っているか。					

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入	
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画	
基準5	学生の受け入れ	② 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学選抜を公正に実施しているか。	(1) 留学生の受け入れを促進するための制度改革をしているか【2018年度学長方針】			具体的な検討が必要と思います。	広報面と制度面とで、どのようなことが考えられるのか、2020年度には具体的な検討をはじめたい。関連して専攻主任会議で出された意見として、9月入学の留学生に対しても日本語教育クラスの設置ができないかということがある。2020年度には研究科で検討して関係部署とも相談してみたい。
		③ 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1) 研究科は、入学者を増やす取り組みをしているか【2018年度学長方針】			入学者を増やす取り組みについて、データに基づいた分析と検討が必要と思います。	人間文化研究科委員会や専攻主任会議において話題として取り上げることがあり、構成員共通の問題意識となっている。2020年度には、過去の入学者動向の経年変化についてのデータを整理し、広報面と制度面とでどのようなことが考えられるのか、検討をはじめたい。なお広報面に関連して、各専攻のWEBページに、より多くの教員情報や学術情報を掲示するなどの意見が出されており、検討材料の一つとなっている。
		④ 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) 2017年度に改正したアドミッション・ポリシーについて、どのように検証しているか。				
基準6	教員・教員組織	② 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。	(1) 人事計画に沿った教員の組織編制ができているか。				
		④ ファカルティ・ディベロップメント（FD）活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。	(1) どのようなFD活動を実施し、その結果をどう活用しているか。（学部／研究科それぞれ別にFD活動を実施する必要がある。）				
		⑤ 教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) 教員組織の編成方針、FD活動の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。				

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準7	学生支援	② 学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制は整備されているか。また、学生支援は適切に行われているか。	(1)多様な背景をもつ学生に対する具体的対応、補習教育、補充教育および成績不良学生の状況把握など、修学に対する支援の実施。			
		③ 学生支援の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)学生への就学支援の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			
基準9	社会連携・社会貢献	② 社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。	(1)社会連携・社会貢献に関する取り組み、地域交流、国際交流事業、卒業生との連携を行っているか。【2018年度学長方針】			
		③ 社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)その取り組みの適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			

2018年度自己点検・評価報告書 意見・指示および改善計画書

学部・学科/研究科・専攻

人間文化研究科・キリスト教思想専攻

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入	
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画	
基準1	理念・目的	① 大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	学部・研究科の目的が設定され、公表されていることを前提に、その内容および大学の理念・目的と関連しているか。				
基準4	教育課程・学習成果	② 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	(1) ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーが整合しているか。				
		③ 教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1) 開設している授業科目が、科目の位置付け、配置年次などを含め、カリキュラム・ポリシーと整合しているか。	「合同ゼミ」が機能し、修論作成・指導に寄与し、最終的に提出された修論は「合同ゼミ」時の段階より進んだものになったことが評価できる。			
			(2) 学部は、初年次教育、共通教育科目と専門科目の連携。				
			(3) 研究科は、コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮。				
			(4) 専門職大学院は、理論教育と実務教育の適切な配置。				
		④ 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	(1) 留学プログラムの充実 【2018年度学長方針】				
(2) 学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容および授業方法							
(3) 学部は、e-ポートフォリオやWebclassなどによる履修指導							
(4) 研究科は、研究指導計画の明示とそれに基づく研究指導の実施							
(5) 専門職大学院は、実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導の実施							

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
	⑤ 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1)成績評価の客観性、厳格性を担保するための措置 (2)学位授与に係る責任体制 (3)研究科は、学位論文審査基準、学位審査および修了認定の客観性および厳格性を担保する措置			今後、「複数教員指導体制」「合同ゼミ」が客観性・厳格性の担保に役立っていることを検証することを、ぜひ検討してください。	2020年度以降の専攻内自己点検・評価委員会にて、「複数教員指導体制」「合同ゼミ」が客観性・厳格性の担保に役立っていることを検証の仕方などを検討しはじめる。
	⑥ 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)学習成果の測定をどのような方法で行っているか。 (例えば、アセスメントテスト、ルーブリックを活用した測定、学生調査など。)				
	⑦ 教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについて、どのように検証しているか。 (2)カリキュラム・ポリシーと授業科目の整合性について、どのような方法で検証を行っているか。				
基準5	学生の受け入れ	② 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。 ③ 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。 ④ 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)留学生の受け入れを促進するための制度改革をしているか 【2018年度学長方針】 (1)研究科は、入学者を増やす取り組みをしているか。【2018年度学長方針】 (1)2017年度に改正したアドミッション・ポリシーについて、どのように検証しているか。			

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準6 教員・教員組織	② 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。	(1)人事計画に沿った教員の組織編制ができているか。		再課程認定の都合で講義担当教員2名の人事を起すことができなかったこと。		2019年度、講義担当教員2名の人事を起すことができた。
	④ ファカルティ・ディベロップメント（FD）活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。	(1)どのようなFD活動を実施し、その結果をどう活用しているか。（学部／研究科それぞれ別にFD活動を実施する必要がある。）	教員相互交流学際研究会の開催が評価できる。		年に2回行われている教員同士の研究交流は有益なので、その成果を教育研究に効果的に還元するサイクルを構築してほしいと思います。	2020年度以降、教員相互交流学際研究会の成果を教育研究に効果的に還元するサイクルの構築を検討しはじめる。
	⑤ 教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)教員組織の編成方針、FD活動の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。				
基準7 学生支援	② 学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制は整備されているか。また、学生支援は適切に行われているか。	(1)多様な背景をもつ学生に対する具体的対応、補習教育、補充教育および成績不良学生の状況把握など、修学に対する支援の実施。				
	③ 学生支援の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)学生への就学支援の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。				
基準9 社会連携・社会貢献	② 社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。	(1)社会連携・社会貢献に関する取り組み、地域交流、国際交流事業、卒業生との連携を行っているか。【2018年度学長方針】				
	③ 社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)その取り組みの適切性について、どのような方法で検証を行っているか。				

2018年度自己点検・評価報告書 意見・指示および改善計画書

		学部・学科/研究科・専攻			人間文化研究科・宗教思想専攻	
評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準1	理念・目的	① 大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	学部・研究科の目的が設定され、公表されていることを前提に、その内容および大学の理念・目的と関連しているか。			
基準4	教育課程・学習成果	② 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	(1) ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーが整合しているか。			
		③ 教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1) 開設している授業科目が、科目の位置付け、配置年次などを含め、カリキュラム・ポリシーと整合しているか。			
			(2) 学部は、初年次教育、共通教育科目と専門科目の連携。			
			(3) 研究科は、コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮。		今後、「合同ゼミ」がコースワークとリサーチワークの適切な組み合わせによる教育にどのように役立っているのかを検証する必要があります。	2020年度以降の自己点検・評価委員会にて、「合同ゼミ」が、コースワークとリサーチワークの適切な組み合わせによる教育にどのように役立っているのかの検証について検討しはじめる。
		(4) 専門職大学院は、理論教育と実務教育の適切な配置。				
④ 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	(1) 留学プログラムの充実 【2018年度学長方針】					
	(2) 学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容および授業方法					
	(3) 学部は、e-ポートフォリオやWebclassなどによる履修指導					
	(4) 研究科は、研究指導計画の明示とそれに基づく研究指導の実施					
	(5) 専門職大学院は、実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導の実施					

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
	⑤ 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1)成績評価の客観性、厳格性を担保するための措置				
		(2)学位授与に係る責任体制				
		(3)研究科は、学位論文審査基準、学位審査および修了認定の客観性および厳格性を担保する措置				
	⑥ 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)学習成果の測定をどのような方法で行っているか。 (例えば、アセスメントテスト、ルーブリックを活用した測定、学生調査など。)				
⑦ 教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについて、どのように検証しているか。					
	(2)カリキュラム・ポリシーと授業科目の整合性について、どのような方法で検証を行っているか。					
基準5	学生の受け入れ	② 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。	(1)留学生の受入れを促進するための制度改革をしているか 【2018年度学長方針】	神学生を積極的に受入れる体制を整えていることが評価できる。		
	③ 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1)研究科は、入学者を増やす取り組みをしているか【2018年度学長方針】				
	④ 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したアドミッション・ポリシーについて、どのように検証しているか。				

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準6 教員・教員組織	② 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。	(1)人事計画に沿った教員の組織編制ができているか。			神学領域の博士後期研究指導担当教員をたてる人事を、ぜひ進めてください。	2020年度に講義担当となった神学領域の教員と、2019年度から博士前期研究指導担当となった神学領域の教員について、数年後に（内規上すぐには無理なので）、それぞれ前期担当、後期担当への昇格人事を起こせるように、準備をととのえていく。
	④ ファカルティ・ディベロップメント（FD）活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。	(1) どのようなFD活動を実施し、その結果をどう活用しているか。（学部/研究科それぞれ別にFD活動を実施する必要がある。）	教員相互交流学際研究会の開催が評価できる。		年に2回行われている教員同士の研究交流は有益なので、その成果を教育研究に効果的に還元するサイクルを構築してほしいと思います。	2020年度以降の専攻内自己点検・評価委員会にて、教員相互交流学際研究会の成果を教育研究に効果的に還元するサイクル構築の仕方などを検討しはじめる。
	⑤ 教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)教員組織の編成方針、FD活動の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。				
基準7 学生支援	② 学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制は整備されているか。また、学生支援は適切に行われているか。	(1)多様な背景をもつ学生に対する具体的対応、補習教育、補充教育および成績不良学生の状況把握など、修学に対する支援の実施。				
	③ 学生支援の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)学生への就学支援の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。				
基準9 社会連携・社会貢献	② 社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。	(1)社会連携・社会貢献に関する取り組み、地域交流、国際交流事業、卒業生との連携を行っているか。【2018年度学長方針】				
	③ 社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)その取り組みの適切性について、どのような方法で検証を行っているか。				

2018年度自己点検・評価報告書 意見・指示および改善計画書

				学部・学科/研究科・専攻			人間文化研究科・人類学専攻	
評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入		
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画		
基準1	理念・目的	① 大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	学部・研究科の目的が設定され、公表されていることを前提に、その内容および大学の理念・目的と関連しているか。					
基準4	教育課程・学習成果	② 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	(1) ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーが整合しているか。					
			③ 教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1) 開設している授業科目が、科目の位置付け、配置年次などを含め、カリキュラム・ポリシーと整合しているか。			カリキュラム改正は望ましいことだが、「名称変更」をするのみか、改正を必要とする問題点を明確にする必要があると思います。	2020年度のカリキュラム改正は科目の「名称変更」のみである。学生によりわかりやすい科目名称にすること、現在の研究状況に照らし合わせてより適切な科目名称にすること、実態と合わせた科目名称にすること、を行った。
				(2) 学部は、初年次教育、共通教育科目と専門科目の連携。				
				(3) 研究科は、コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮。				
				(4) 専門職大学院は、理論教育と実務教育の適切な配置。				

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
	④ 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	(1) 留学プログラムの充実 【2018年度学長方針】				
		(2) 学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容および授業方法				
		(3) 学部は、e-ポートフォリオやWebclassなどによる履修指導				
		(4) 研究科は、研究指導計画の明示とそれに基づく研究指導の実施	毎年度開催される人類学専攻の合同研究会で研究発表することで、指導教員、副指導教員のみならず、全教員が各学生の研究の進捗状況を把握している。これにより客観的な研究評価が行えることが、評価できる。			
		(5) 専門職大学院は、実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導の実施				
	⑤ 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1) 成績評価の客観性、厳格性を担保するための措置			「課程博士論文資格に関する申合せ」の内規化を検討するにあたり課程博士論文提出に関わる資格についてどのような問題があるのかを明確にする必要があると思います。	2019年度に課程博士論文が2本提出される。2014年度から試行的に実施している「課程博士論文提出資格に関する申し合わせ」に従って計4本の博士論文が提出されることになる。これまでの経緯を踏まえ、人類学専攻の全教員で問題点を洗い出して、内規制定に反映させる予定である。
		(2) 学位授与に係る責任体制				
		(3) 研究科は、学位論文審査基準、学位審査および修了認定の客観性および厳格性を担保する措置	博士後期課程については、「学位論文審査基準」に加えて「課程博士論文提出資格に関する申し合せ」を制定していることが、評価できる。			

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
	⑥ 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)学習成果の測定をどのような方法で行っているか。(例えば、アセスメントテスト、ルーブリックを活用した測定、学生調査など。)	投稿論文について、教員・院生合同研究会を開催し評価を行い、修論について、5名の審査員で評価をし客観性を担保していることが、評価できる。			
	⑦ 教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについて、どのように検証しているか。 (2)カリキュラム・ポリシーと授業科目の整合性について、どのような方法で検証を行っているか。				
基準5	学生の受け入れ	② 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学選抜を公正に実施しているか。	(1)留学生の受け入れを促進するための制度改革をしているか【2018年度学長方針】			
	③ 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1)研究科は、入学者を増やす取り組みをしているか【2018年度学長方針】				
	④ 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したアドミッション・ポリシーについて、どのように検証しているか。				

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準6 教員・教員組織	② 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。	(1)人事計画に沿った教員の組織編制ができているか。				
	④ ファカルティ・ディベロップメント（FD）活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。	(1)どのようなFD活動を実施し、その結果をどう活用しているか。（学部／研究科それぞれ別にFD活動を実施する必要がある。）			受験生の増加につなげるために修了者講演会の開催を実現してほしいと思います。	2019年10月14日に修了生2名を講師として招いて講演会を実施した。参加者は計26名であった。今後も継続的に実施していく予定である。
	⑤ 教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)教員組織の編成方針、FD活動の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。				
基準7 学生支援	② 学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制は整備されているか。また、学生支援は適切に行われているか。	(1)多様な背景をもつ学生に対する具体的対応、補習教育、補充教育および成績不良学生の状況把握など、修学に対する支援の実施。				
	③ 学生支援の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)学生への就学支援の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。				
基準9 社会連携・社会貢献	② 社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。	(1)社会連携・社会貢献に関する取り組み、地域交流、国際交流事業、卒業生との連携を行っているか。【2018年度学長方針】				
	③ 社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)その取り組みの適切性について、どのような方法で検証を行っているか。				

2018年度自己点検・評価報告書 意見・指示および改善計画書

				学部・学科/研究科・専攻			人間文化研究科・教育ファシリテーション専攻
評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入	
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画	
基準1	理念・目的	① 大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	学部・研究科の目的が設定され、公表されていることを前提に、その内容および大学の理念・目的と関連しているか。				
基準4	教育課程・学習成果	② 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	(1) ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーが整合しているか。				
		③ 教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1) 開設している授業科目が、科目の位置付け、配置年次などを含め、カリキュラム・ポリシーと整合しているか。				
			(2) 学部は、初年次教育、共通教育科目と専門科目の連携。				
			(3) 研究科は、コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮。				
			(4) 専門職大学院は、理論教育と実務教育の適切な配置。				
		④ 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	(1) 留学プログラムの充実 【2018年度学長方針】				
			(2) 学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容および授業方法				
(3) 学部は、e-ポートフォリオやWebclassなどによる履修指導							
(4) 研究科は、研究指導計画の明示とそれに基づく研究指導の実施	修論執筆予定者すべてが修論を提出し、平均以上の成績で修了したことが、評価できる。						
(5) 専門職大学院は、実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導の実施							

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
	⑤ 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1)成績評価の客観性、厳格性を担保するための措置				
		(2)学位授与に係る責任体制				
		(3)研究科は、学位論文審査基準、学位審査および修了認定の客観性および厳格性を担保する措置	修論審査にあたり主査・副査2名の体制で臨み、ポリシーを基準に論文審査を行ったことが評価できる。			
	⑥ 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)学習成果の測定をどのような方法で行っているか。 (例えば、アセスメントテスト、ルーブリックを活用した測定、学生調査など。)				
⑦ 教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。		(1)2017年度に改正したディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについて、どのように検証しているか。				
	(2)カリキュラム・ポリシーと授業科目の整合性について、どのような方法で検証を行っているか。					
基準5	学生の受け入れ	② 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。	(1)留学生の受入れを促進するための制度改革をしているか 【2018年度学長方針】			

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
	③ 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1)研究科は、入学者を増やす取り組みをしているか。【2018年度学長方針】			技術として捉えられがちなファシリテーションを、研究領域として設定するという専攻の理念を、志願者に適切に伝える努力を続けてほしいと思います。	いくつかの手段を介して、ファシリテーションを技能としてではなく研究領域として捉えてもらうよう受験者にメッセージを送っています。入試説明会においては、参加者に対して研究論文を書くことの意義を伝えていきます。また、入試においては研究をするため基礎能力の判定をより厳格に適用するよう努める一方で、過去問の一部をWeb上で公開するなどして専攻がどのような基礎能力を求めているかを受験者に理解してもらうようにしています。また、修了生のページとリンクすることによって、専攻での研究が自身のキャリアアップといかにつながっているかが見取れるようにしています。これらを継続することに加え、専攻作成Webページに修了生の研究成果を新たに掲載して受験者に専攻の理念を伝えるなどの方策を、引き続き検討したいと考えます。
	④ 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したアドミッション・ポリシーについて、どのように検証しているか。				
基準6	教員・教員組織 ② 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。	(1)人事計画に沿った教員の組織編制ができているか。	研究指導補助教員1名を研究指導、広義担当1名を研究指導補助として研究体制を充実			

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
	④ ファカルティ・ディベ ロップメント（FD）活動を 組織的かつ多面的に実施し、 教員の資質向上及び教員組織 の改善・向上につなげている か。	(1) どのようなFD活動を実施 し、その結果をどう活用してい るか。（学部／研究科それぞれ 別にFD活動を実施する必要が ある。）	自己点検委員会の中で教員の研究活 動をピアレビュー			
	⑤ 教員組織の適切性につい て定期的に点検・評価を行っ ているか。また、その結果を もとに改善・向上に向けた取 り組みを行っているか。	(1) 教員組織の編成方針、FD活 動の適切性について、どのよう な方法で検証を行っているか。				
基準7	学生支援	② 学生支援に関する大学と しての方針に基づき、学生支 援の体制は整備されている か。また、学生支援は適切に 行われているか。	(1) 多様な背景をもつ学生に対す る具体的対応、補習教育、補充 教育および成績不良学生の状況 把握など、修学に対する支援の 実施。			
		③ 学生支援の適切性につい て定期的に点検・評価を行っ ているか。また、その結果を もとに改善・向上に向けた取 り組みを行っているか。	(1) 学生への就学支援の適切性 について、どのような方法で検証 を行っているか。			
基準9	社会連携・社 会貢献	② 社会連携・社会貢献に関 する方針に基づき、社会連 携・社会貢献に関する取り組 みを実施しているか。また、 教育研究成果を適切に社会に 還元しているか。	(1) 社会連携・社会貢献に関する 取り組み、地域交流、国際交流 事業、卒業生との連携を行っ ているか。【2018年度学長方針】			
		③ 社会連携・社会貢献の適 切性について定期的に点検・ 評価を行っているか。また、 その結果をもとに改善・向上 に向けた取り組みを行ってい るか。	(1) その取り組みの適切性につい て、どのような方法で検証を 行っているか。			

2018年度自己点検・評価報告書 意見・指示および改善計画書

				学部・学科/研究科・専攻			人間文化研究科・言語科学専攻	
評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入		
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画		
基準1	理念・目的	① 大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	学部・研究科の目的が設定され、公表されていることを前提に、その内容および大学の理念・目的と関連しているか。					
基準4	教育課程・学習成果	② 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	(1) ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーが整合しているか。					
		③ 教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1) 開設している授業科目が、科目の位置付け、配置年次などを含め、カリキュラム・ポリシーと整合しているか。					
			(2) 学部は、初年次教育、共通教育科目と専門科目の連携。					
			(3) 研究科は、コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮。					
			(4) 専門職大学院は、理論教育と実務教育の適切な配置。					
		④ 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	(1) 留学プログラムの充実 【2018年度学長方針】	各国からの留学生が在学し日本人院生とともに研究活動を行ったことが評価できる。				
			(2) 学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容および授業方法					
(3) 学部は、e-ポートフォリオやWebclassなどによる履修指導								
	(4) 研究科は、研究指導計画の明示とそれに基づく研究指導の実施	博士後期課程について、複数指導教員制度に加えてアドバイザー・コミッティー制度を設けて手厚い指導を行っていることが評価できる。						
	(5) 専門職大学院は、実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導の実施							

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
	⑤ 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1)成績評価の客観性、厳格性を担保するための措置 (2)学位授与に係る責任体制 (3)研究科は、学位論文審査基準、学位審査および修了認定の客観性および厳格性を担保する措置				
	⑥ 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)学習成果の測定をどのような方法で行っているか。 (例えば、アセスメントテスト、ルーブリックを活用した測定、学生調査など。)				
	⑦ 教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについて、どのように検証しているか。				
		(2)カリキュラム・ポリシーと授業科目の整合性について、どのような方法で検証を行っているか。				
基準5	学生の受け入れ	② 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。	(1)留学生の受け入れを促進するための制度改革をしているか 【2018年度学長方針】	専攻の設立以来、各種の制度を用意して、留学生受け入れを積極的にこなっていることが評価できる。		
	③ 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1)研究科は、入学者を増やす取り組みをしているか。【2018年度学長方針】			定員充足率が低い状態を解消するため、具体的な検証を、ぜひ進めてください。	年2回開催の大学院入試説明会の内容充実や雑誌広告も含めた広報活動の強化を行なっているが、志願者すべてが合格・入学するわけではないため、定員充足率の改善にまでは至っていない。2020年度は、志願者を増やす方策についてどのようなことが考えられるか、専攻内に検討チームを組織して検討を始めた。
	④ 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したアドミッション・ポリシーについて、どのように検証しているか。				

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準6 教員・教員組織	② 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。	(1) 人事計画に沿った教員の組織編制ができているか。				
	④ ファカルティ・ディベロップメント（FD）活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。	(1) どのようなFD活動を実施し、その結果をどう活用しているか。（学部／研究科それぞれ別にFD活動を実施する必要がある。）		組織的にFD活動を行っていないこと		
	⑤ 教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) 教員組織の編成方針、FD活動の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			組織的なFD活動とその適切性についての検証を、ぜひ進めてください。	毎年専攻の自己点検評価委員会にて教員評価ならびに授業評価の点検は行なっているが、必ずしもFDと連携するまでには至っていない。2020年度は、自己点検評価とFDを連携させて、組織的なFD活動とその適切性についての検証が行える体制を整備する。
基準7 学生支援	② 学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制は整備されているか。また、学生支援は適切に行われているか。	(1) 多様な背景をもつ学生に対する具体的対応、補習教育、補充教育および成績不良学生の状況把握など、修学に対する支援の実施。				
	③ 学生支援の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) 学生への就学支援の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。				
基準9 社会連携・社会貢献	② 社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。	(1) 社会連携・社会貢献に関する取り組み、地域交流、国際交流事業、卒業生との連携を行っているか。【2018年度学長方針】	「日本語学・日本語教育院生セミナー」への参加、「大学生と社会人のキャリアを切り拓く」をテーマにした雑誌取材への協力は、社会連携・社会貢献を促すものとして評価できる。			
	③ 社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) その取り組みの適切性について、どのような方法で検証を行っているか。				

2018年度自己点検・評価報告書 意見・指示および改善計画書

学部・学科/研究科・専攻 国際地域文化研究科・国際地域文化専攻

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準1	理念・目的	① 大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	学部・研究科の目的が設定され、公表されていることを前提に、その内容および大学の理念・目的と関連しているか。		研究科Webページで「人間の尊厳のために」について言及がなく、3つのポリシーとの間に差がみられること。	
基準4	教育課程・学習成果	② 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	(1) ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーが整合しているか。			
		③ 教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1) 開設している授業科目が、科目の位置付け、配置年次などを含め、カリキュラム・ポリシーと整合しているか。			
			(2) 学部は、初年次教育、共通教育科目と専門科目の連携。			
			(3) 研究科は、コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮。			
			(4) 専門職大学院は、理論教育と実務教育の適切な配置。			
		④ 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	(1) 留学プログラムの充実 【2018年度学長方針】			
	(2) 学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容および授業方法					
	(3) 学部は、e-ポートフォリオやWebclassなどによる履修指導					
	(4) 研究科は、研究指導計画の明示とそれに基づく研究指導の実施	研究科パンフレットで、研究指導計画（スケジュール）を学生に明示していることが、評価できる。				
	(5) 専門職大学院は、実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導の実施					

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
	⑤ 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1)成績評価の客観性、厳格性を担保するための措置 (2)学位授与に係る責任体制 (3)研究科は、学位論文審査基準、学位審査および修了認定の客観性および厳格性を担保する措置	「学位論文審査基準」を明文化していること、博士後期課程の論文審査員に学外者を加えていることが評価できる。			
	⑥ 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)学習成果の測定をどのような方法で行っているか。 (例えば、アセスメントテスト、ルーブリックを活用した測定、学生調査など。)				
	⑦ 教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについて、どのように検証しているか。 (2)カリキュラム・ポリシーと授業科目の整合性について、どのような方法で検証を行っているか。				
基準5	学生の受け入れ ② 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。	(1)留学生の受け入れを促進するための制度改革をしているか【2018年度学長方針】			外国人留学生別科からの入学者を増やすために今後も努力してほしい。	昨年度、今年度と続けて留学生別科から本研究科への進学者があり、こうした流れを発展させるために、外国人留学生別科による進路や大学院進学の説明会等において研究科の紹介をより効果的に行ってもらえるよう、別科関係者との連携を強めるとともに、別科生を含む授業を担当する研究科教員に対しては、別科生等に対する研究科の紹介や情報提供等を積極的に行ってもらうなど、研究科としての組織的な努力を行っていきたい。

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
	③ 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1)研究科は、入学者を増やす取り組みをしているか【2018年度学長方針】			学内者および社会人の進学促進を、ぜひ進めてほしい。	今年度、学内者および社会人の進学促進を目的として新たに二つの行事を行った。まず学内者進学促進に関しては、6月19日（水）12:45～14:00にL棟910会議室において、「学内生のための大学院進学相談会」を開催し、研究科の紹介に加え、複数の研究科現役院生にも参加してもらい、自らの大学院進学を含めたキャリアをめぐる経験や入学後の学生生活について語ってもらい、その後は、全体での質疑応答に加えて、研究領域ごとのグループ・ディスカッションや質疑応答を行った。参加者は、外国語学部生を中心に総合政策学部生、国際教養学部生も含めて20名に上り、多くの質問や活発な意見交換等もあり、盛況な催しとなった。 次に社会人入学促進に関しては、11月9日（土）15:00～17:00にフラッテンホールにおいて入試広報を兼ねた講演会を開催した。講演者にはアメリカ研究者として著名な渡辺靖慶応大学教授を招き、「トランプ政権とアメリカ第一主義の行方」と題して講演を行ってもらい、講演会の最初に講師紹介を兼ねて研究科の紹介を行った。参加者は、新聞広告を出したこともあり、社会人を中心に95名に上り、充実した講演に多くの質問がなされ、アンケートでも評価する声が多かった。進学促進に関するこの二つの行事の効果は、受験者・入学者増という形では未だ測れる段階にないが、研究科としては手応えを感じることができ、今後もこうした学内生・社会人の進学促進に向けた努力を続けていきたい。

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
		④ 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したアドミッション・ポリシーについて、どのように検証しているか。			
基準 6	教員・教員組織	② 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。	(1)人事計画に沿った教員の組織編制ができているか。			
		④ ファカルティ・ディベロップメント（FD）活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。	(1)どのようなFD活動を実施し、その結果をどう活用しているか。（学部/研究科それぞれ別にFD活動を実施する必要がある。）	教員と学生がともに参加するFD活動を実施していることが評価できる。		
		⑤ 教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)教員組織の編成方針、FD活動の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準 7	学生支援	② 学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制は整備されているか。また、学生支援は適切に行われているか。	(1) 多様な背景をもつ学生に対する具体的対応、補習教育、補充教育および成績不良学生の状況把握など、修学に対する支援の実施。			
		③ 学生支援の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) 学生への就学支援の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			
基準 9	社会連携・社会貢献	② 社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。	(1) 社会連携・社会貢献に関する取り組み、地域交流、国際交流事業、卒業生との連携を行っているか。【2018年度学長方針】			
		③ 社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) その取り組みの適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			

2018年度自己点検・評価報告書 意見・指示および改善計画書

		学部・学科/研究科・専攻			社会科学研究科	
評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準1	理念・目的	① 大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	学部・研究科の目的が設定され、公表されていることを前提に、その内容および大学の理念・目的と関連しているか。			
基準4	教育課程・学習成果	② 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	(1) ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーが整合しているか。			
		③ 教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1) 開設している授業科目が、科目の位置付け、配置年次などを含め、カリキュラム・ポリシーと整合しているか。			
			(2) 学部は、初年次教育、共通教育科目と専門科目の連携。			
			(3) 研究科は、コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮。			
			(4) 専門職大学院は、理論教育と実務教育の適切な配置。			
		④ 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	(1) 留学プログラムの充実 【2018年度学長方針】			
	(2) 学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容および授業方法					
	(3) 学部は、e-ポートフォリオやWebclassなどによる履修指導					
	(4) 研究科は、研究指導計画の明示とそれに基づく研究指導の実施					
	(5) 専門職大学院は、実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導の実施					

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入	
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画	
	⑤ 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1)成績評価の客観性、厳格性を担保するための措置					
		(2)学位授与に係る責任体制					
		(3)研究科は、学位論文審査基準、学位審査および修了認定の客観性および厳格性を担保する措置	客観的で厳格な学位論文審査を経て11名の修士、1名の博士の学位を授与したことが、評価できる。 後期課程において、学論論文審査基準に加えて「課程博士学位請求論文の提出要件と審査手続きに関する申し合わせ」制定し、「博士論文提出資格審査」を実施していることが、評価できる。				
	⑥ 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)学習成果の測定をどのような方法で行っているか。 (例えば、アセスメントテスト、ルーブリックを活用した測定、学生調査など。)					
		⑦ 教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについて、どのように検証しているか。				
	(2)カリキュラム・ポリシーと授業科目の整合性について、どのような方法で検証を行っているか。						

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準5 学生の受け入れ	② 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学選抜を公正に実施しているか。	(1)留学生の受入れを促進するための制度改革をしているか【2018年度学長方針】			留学生の受入促進について、検討を、ぜひ進めてほしい。	国際センターとの連携を強化することにより、優秀な留学生受入れをさらに増やすための方策（例えば、特別コースの導入など）について検討する。有効な方策が見つかれば、社会科学研究科としても積極的にこれを実施する。
	③ 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1)研究科は、入学者を増やす取り組みをしているか【2018年度学長方針】	学部学生も参加できる「大学院生のためのキャリア就職セミナー」を行っていることが評価できる。		入学者は増加しているか、定員充足に向けた検討は進めてほしい。	産官学のコミュニケーションをさらに深めるための仕組みを導入する。これを通して、高度専門職業人の養成を目的とした大学院教育の内容について、さらに具体的な検討を行う。その上で、実現可能なものについては、積極的な実現を目指す。
	④ 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したアドミッション・ポリシーについて、どのように検証しているか。				
基準6 教員・教員組織	② 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。	(1)人事計画に沿った教員の組織編制ができているか。				
	④ ファカルティ・ディベロップメント（FD）活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。	(1)どのようなFD活動を実施し、その結果をどう活用しているか。（学部/研究科それぞれ別にFD活動を実施する必要がある。）			研究科全体としてFD研修を実施するのが望ましいと思います。	既に2019年度には博士後期課程の学際共通科目の改善を目的としたFD懇談会を実施した。引き続き、研究科共通科目のカリキュラム改善を目的としたFD研修会または懇談会を積極的に実施する。
	⑤ 教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)教員組織の編成方針、FD活動の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。				

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入	
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画	
基準7	学生支援	② 学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制は整備されているか。また、学生支援は適切に行われているか。	(1)多様な背景をもつ学生に対する具体的対応、補習教育、補充教育および成績不良学生の状況把握など、修学に対する支援の実施。	社会人学生が授業に出席できるように夜間等時間割の配慮を行い、研究指導については、通常授業以外に、中間報告、各種セミナーを通じてフォローしていることは、社会人学生の学習を促進するものとして評価できる。			
		③ 学生支援の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)学生への就学支援の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。				
基準9	社会連携・社会貢献	② 社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。	(1)社会連携・社会貢献に関する取り組み、地域交流、国際交流事業、卒業生との連携を行っているか。【2018年度学長方針】				
		③ 社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)その取り組みの適切性について、どのような方法で検証を行っているか。				

2018年度自己点検・評価報告書 意見・指示および改善計画書

				学部・学科/研究科・専攻			社会科学研究科・経済学専攻
評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入	
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画	
基準1	理念・目的	① 大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	学部・研究科の目的が設定され、公表されていることを前提に、その内容および大学の理念・目的と関連しているか。				
基準4	教育課程・学習成果	② 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	(1) ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーが整合しているか。				
		③ 教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1) 開設している授業科目が、科目の位置付け、配置年次などを含め、カリキュラム・ポリシーと整合しているか。				
			(2) 学部は、初年次教育、共通教育科目と専門科目の連携。				
			(3) 研究科は、コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮。				
			(4) 専門職大学院は、理論教育と実務教育の適切な配置。				
④ 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	(1) 留学プログラムの充実 【2018年度学長方針】						
	(2) 学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容および授業方法	授業アンケートを基に院生の声を直接聞き、懇談会を開催し、全体として学習の活性化を図った。結果、全員が修論を提出し修了し、さらに、博士後期課程に進学する者もあったことが、評価できる。					
	(3) 学部は、e-ポートフォリオやWebclassなどによる履修指導						

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
		(4) 研究科は、研究指導計画の明示とそれに基づく研究指導の実施	4名が学生論集(『南山論集』)にも論文を投稿し、掲載されていることで、学生の研究が活発であることが分かり、評価できる。			
		(5) 専門職大学院は、実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導の実施				
	⑤ 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1) 成績評価の客観性、厳格性を担保するための措置				
		(2) 学位授与に係る責任体制				
		(3) 研究科は、学位論文審査基準、学位審査および修了認定の客観性および厳格性を担保する措置	論文審査において「副指導および学位論文審査委員割り当て原則」を明文化していること、論文審査に係る取り扱い要項を制定していることが、評価できる。			
	⑥ 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1) 学習成果の測定をどのような方法で行っているか。(例えば、アセスメントテスト、ルーブリックを活用した測定、学生調査など。)				
	⑦ 教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) 2017年度に改正したディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについて、どのように検証しているか。				
		(2) カリキュラム・ポリシーと授業科目の整合性について、どのような方法で検証を行っているか。		教育課程の充実が課題として掲げられていることは素晴らしいことなので、それに伴いCPと授業科目との整合性を堅守する方法についての検討を進めてほしいと思います。	今年度、国際金融論担当の専任教員一名を、博士前期課程の研究指導に追加し、また日本経済史の教員一名を博士後期課程の研究指導補助から研究指導担当の教員への昇格を進めてきている。また、来年度も引き続き、学部内から大学院教育にふさわしい業績を持つ優秀な教員の大学院の科目担当への追加していくことにより、CPで述べている経済学の専門知識を幅広くかつ柔軟に活用できる人材育成のための体制をよりよく実現させるべく、教育課程の充実をはかっていく予定である。	

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準5	学生の受け入れ	② 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。	(1) 留学生の受入れを促進するための制度改革をしているか 【2018年度学長方針】			
		③ 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1) 研究科は、入学者を増やす取り組みをしているか【2018年度学長方針】			
		④ 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) 2017年度に改正したアドミッション・ポリシーについて、どのように検証しているか。			
基準6	教員・教員組織	② 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。	(1) 人事計画に沿った教員の組織編制ができているか。		博士前期課程で幅広い分野の教員をメンバーに加えることを進めてほしいと思います。	本年度は、国際金融論担当の専任教員一名を、博士前期課程の研究指導に追加した。また講義科目担当者を一名、学部から追加した。来年度は経済学専攻のDPで述べている研究分析能力を高めるためのカリキュラムをより充実させるべく、より幅広い分野の教員を講義担当に加え、講義科目を増やす予定である。
		④ ファカルティ・ディベロップメント（FD）活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。	(1) どのようなFD活動を実施し、その結果をどう活用しているか。（学部／研究科それぞれ別にFD活動を実施する必要がある。）	FD活動を学部と合同で実施していること。	専攻独自のFD活動を実施するのが望ましいと思います。	今年度(2019年度)から専攻向けのFD研修会を開始し、今年度も1月10日に実施した。
		⑤ 教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) 教員組織の編成方針、FD活動の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入	
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画	
基準7	学生支援	② 学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制は整備されているか。また、学生支援は適切に行われているか。	(1)多様な背景をもつ学生に対する具体的な対応、補習教育、補充教育および成績不良学生の状況把握など、修学に対する支援の実施。	懇談会および懇親会の開催を行い、学位論文関連の日程確認、論文の評価方法、中間報告や最終審査の公開、学生論集の提出を促していることは、学生の就学支援として評価できる。			
		③ 学生支援の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)学生への就学支援の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。				
基準9	社会連携・社会貢献	② 社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。	(1)社会連携・社会貢献に関する取り組み、地域交流、国際交流事業、卒業生との連携を行っているか。【2018年度学長方針】	一般向け講演会であるイブニング・セミナーを年に2回、7月と12月に開催していることは、社会貢献・社会連携を促すものとして評価できる。			
		③ 社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)その取り組みの適切性について、どのような方法で検証を行っているか。				

2018年度自己点検・評価報告書 意見・指示および改善計画書

学部・学科/研究科・専攻

社会科学研究科・経営学専攻

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準1	理念・目的	① 大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	学部・研究科の目的が設定され、公表されていることを前提に、その内容および大学の理念・目的と関連しているか。			
基準4	教育課程・学習成果	② 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	(1) ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーが整合しているか。			
		③ 教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1) 開設している授業科目が、科目の位置付け、配置年次などを含め、カリキュラム・ポリシーと整合しているか。 (2) 学部は、初年次教育、共通教育科目と専門科目の連携。 (3) 研究科は、コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮。 (4) 専門職大学院は、理論教育と実務教育の適切な配置。			
		④ 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	(1) 留学プログラムの充実【2018年度学長方針】 (2) 学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容および授業方法 (3) 学部は、e-ポートフォリオやWebclassなどによる履修指導 (4) 研究科は、研究指導計画の明示とそれに基づく研究指導の実施 (5) 専門職大学院は、実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導の実施			

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
	⑤ 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1)成績評価の客観性、厳格性を担保するための措置				
		(2)学位授与に係る責任体制				
		(3)研究科は、学位論文審査基準、学位審査および修了認定の客観性および厳格性を担保する措置	博士後期課程の学位審査委員会他大学の学位審査委員を委嘱していることが、評価できる。			
	⑥ 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)学習成果の測定をどのような方法で行っているか。 (例えば、アセスメントテスト、ルーブリックを活用した測定、学生調査など。)				
⑦ 教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについて、どのように検証しているか。					
	(2)カリキュラム・ポリシーと授業科目の整合性について、どのような方法で検証を行っているか。					
基準5	学生の受け入れ	② 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。	(1)留学生の受け入れを促進するための制度改革をしているか【2018年度学長方針】			
		③ 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1)研究科は、入学者を増やす取り組みをしているか【2018年度学長方針】			
		④ 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したアドミッション・ポリシーについて、どのように検証しているか。			

評価基準	点検・評価項目	南山大学の 「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準6	教員・教員組織	② 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。	(1)人事計画に沿った教員の組織編制ができているか。			
		④ ファカルティ・ディベロップメント（FD）活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。	(1)どのようなFD活動を実施し、その結果をどう活用しているか。（学部/研究科それぞれ別にFD活動を実施する必要がある。）	FD活動を学部と合同で実施していること。	専攻独自のFD活動を実施するのが望ましいと思います。	毎クォーター実施している「学生による授業評価」の結果を分析・検討するFD研修会の開催を今年度内に予定している。また、専攻独自ではこれまで「修士論文・博士論文プロポーザル公聴会」を修了年次の前年度に実施してきているが、これは特定の院生の研究に対して参加教員全体（指導教員以外も出席している）で指導方針を提案し合い検討する場であったという意味で、FDの要素も含んだ活動といえそうである。次年度からこれをFD活動の一環としても実施できるかどうかを検討する。
		⑤ 教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)教員組織の編成方針、FD活動の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			
基準7	学生支援	② 学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制は整備されているか。また、学生支援は適切に行われているか。	(1)多様な背景をもつ学生に対する具体的対応、補習教育、補充教育および成績不良学生の状況把握など、修学に対する支援の実施。			
		③ 学生支援の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)学生への就学支援の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入	
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画	
基準 9	社会連携・社会貢献	② 社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。	(1)社会連携・社会貢献に関する取り組み、地域交流、国際交流事業、卒業生との連携を行っているか。 【2018年度学長方針】				
		③ 社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)その取り組みの適切性について、どのような方法で検証を行っているか。				

2018年度自己点検・評価報告書 意見・指示および改善計画書

				学部・学科/研究科・専攻	社会科学研究科・総合政策学専攻	
評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準1	理念・目的	① 大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	学部・研究科の目的が設定され、公表されていることを前提に、その内容および大学の理念・目的と関連しているか。			
基準4	教育課程・学習成果	② 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	(1) ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーが整合しているか。			
		③ 教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1) 開設している授業科目が、科目の位置付け、配置年次などを含め、カリキュラム・ポリシーと整合しているか。			
			(2) 学部は、初年次教育、共通教育科目と専門科目の連携。			
			(3) 研究科は、コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮。			
		(4) 専門職大学院は、理論教育と実務教育の適切な配置。				

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
	④ 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	(1) 留学プログラムの充実 【2018年度学長方針】				
		(2) 学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容および授業方法				
		(3) 学部は、e-ポートフォリオやWebclassなどによる履修指導				
		(4) 研究科は、研究指導計画の明示とそれに基づく研究指導の実施				
		(5) 専門職大学院は、実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導の実施				
	⑤ 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1) 成績評価の客観性、厳格性を担保するための措置				
		(2) 学位授与に係る責任体制				
⑥ 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(3) 研究科は、学位論文審査基準、学位審査および修了認定の客観性および厳格性を担保する措置					
	(1) 学習成果の測定をどのような方法で行っているか。 (例えば、アセスメントテスト、ルーブリックを活用した測定、学生調査など。)	専攻の紀要「南山総合政策研究」第10号では学生3名、研究員1名が投稿、記載されたことで、学生の研究が活発であることが分かり、評価できる。				
⑦ 教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) 2017年度に改正したディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについて、どのように検証しているか。					
	(2) カリキュラム・ポリシーと授業科目の整合性について、どのような方法で検証を行っているか。					

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準5	学生の受け入れ	② 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学選抜を公正に実施しているか。	(1) 留学生の受入れを促進するための制度改革をしているか 【2018年度学長方針】			
		③ 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1) 研究科は、入学者を増やす取り組みをしているか【2018年度学長方針】			
		④ 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) 2017年度に改正したアドミッション・ポリシーについて、どのように検証しているか。		博士前期課程のアドミッション・ポリシーについて、検証を進める必要があると思います。	博士前期課程のアドミッション・ポリシーを検証する。
基準6	教員・教員組織	② 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。	(1) 人事計画に沿った教員の組織編制ができているか。			
		④ ファカルティ・ディベロップメント（FD）活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。	(1) どのようなFD活動を実施し、その結果をどう活用しているか。（学部／研究科それぞれ別にFD活動を実施する必要がある。）	FD活動を学部と共同で実施していること。	専攻独自のFD活動を実施するのが望ましいと思います。	専攻独自のFD活動を実施することを検討する。
		⑤ 教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) 教員組織の編成方針、FD活動の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。		FD活動の適切性についても、検証を実施する必要があると思います。	FD活動の適切性について検証する。

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入	
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画	
基準7	学生支援	② 学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制は整備されているか。また、学生支援は適切に行われているか。	(1)多様な背景をもつ学生に対する具体的対応、補習教育、補充教育および成績不良学生の状況把握など、修学に対する支援の実施。	社会人学生が授業に出席できるように夜間等時間割の配慮を行っていることは、社会人の就学支援として評価できる。			
		③ 学生支援の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)学生への就学支援の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。				
基準9	社会連携・社会貢献	② 社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。	(1)社会連携・社会貢献に関する取り組み、地域交流、国際交流事業、卒業生との連携を行っているか。【2018年度学長方針】				
		③ 社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)その取り組みの適切性について、どのような方法で検証を行っているか。				

2018年度自己点検・評価報告書 意見・指示および改善計画書

		学部・学科/研究科・専攻			法務研究科・法務専攻	
評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準1	理念・目的	① 大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	学部・研究科の目的が設定され、公表されていることを前提に、その内容および大学の理念・目的と関連しているか。			
基準4	教育課程・学習成果	② 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	(1) ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーが整合しているか。			
		③ 教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1) 開設している授業科目が、科目の位置付け、配置年次などを含め、カリキュラム・ポリシーと整合しているか。			
			(2) 学部は、初年次教育、共通教育科目と専門科目の連携。			
			(3) 研究科は、コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮。			
			(4) 専門職大学院は、理論教育と実務教育の適切な配置。			
④ 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	(1) 留学プログラムの充実 【2018年度学長方針】					
	(2) 学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容および授業方法					
	(3) 学部は、e-ポートフォリオやWebclassなどによる履修指導					
	(4) 研究科は、研究指導計画の明示とそれに基づく研究指導の実施					
	(5) 専門職大学院は、実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導の実施					

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
	⑤ 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1)成績評価の客観性、厳格性を担保するための措置 (2)学位授与に係る責任体制 (3)研究科は、学位論文審査基準、学位審査および修了認定の客観性および厳格性を担保する措置	在学生数の減少に伴い生じる成績評価の厳格化という課題への取り組みを検討し実行したこと、「採点評価に関する確認事項」を定めていること、「成績意見交換会」を開催していることが評価できる。			
	⑥ 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)学習成果の測定をどのような方法で行っているか。 (例えば、アセスメントテスト、ルーブリックを活用した測定、学生調査など。)	修了要件を修得単位数とGPA双方としていることが評価できる。			
	⑦ 教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについて、どのように検証しているか。 (2)カリキュラム・ポリシーと授業科目の整合性について、どのような方法で検証を行っているか。	「理念・目的及び教育目標検証会」を研究科長をはじめ各委員が参加して開催し、教育課程の内容・方法の現状について検証を行ったことが評価できる。			
基準5	学生の受け入れ	② 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。 ③ 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。 ④ 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)留学生の受け入れを促進するための制度改革をしているか 【2018年度学長方針】 (1)研究科は、入学者を増やす取り組みをしているか 【2018年度学長方針】 (1)2017年度に改正したアドミッション・ポリシーについて、どのように検証しているか。			

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準6	教員・教員組織	② 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。	(1)人事計画に沿った教員の組織編制ができているか。			
		④ ファカルティ・ディベロップメント（FD）活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。	(1)どのようなFD活動を実施し、その結果をどう活用しているか。（学部/研究科それぞれ別にFD活動を実施する必要がある。）			
		⑤ 教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)教員組織の編成方針、FD活動の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			
基準7	学生支援	② 学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制は整備されているか。また、学生支援は適切に行われているか。	(1)多様な背景をもつ学生に対する具体的対応、補習教育、補充教育および成績不良学生の状況把握など、修学に対する支援の実施。			
		③ 学生支援の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)学生への就学支援の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			
基準9	社会連携・社会貢献	② 社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。	(1)社会連携・社会貢献に関する取り組み、地域交流、国際交流事業、卒業生との連携を行っているか。【2018年度学長方針】			
		③ 社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)その取り組みの適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			

2018年度自己点検・評価報告書 意見・指示および改善計画書

				学部・学科/研究科・専攻			理工学研究科
評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入	
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画	
基準1	理念・目的	① 大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	学部・研究科の目的が設定され、公表されていることを前提に、その内容および大学の理念・目的と関連しているか。				
基準4	教育課程・学習成果	② 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	(1) ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーが整合しているか。				
		③ 教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1) 開設している授業科目が、科目の位置付け、配置年次などを含め、カリキュラム・ポリシーと整合しているか。				
			(2) 学部は、初年次教育、共通教育科目と専門科目の連携。				
			(3) 研究科は、コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮。				
			(4) 専門職大学院は、理論教育と実務教育の適切な配置。				
④ 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	(1) 留学プログラムの充実 【2018年度学長方針】	国際化推進事業の枠組みで海外派遣事業を実施していることが、評価できる。					
	(2) 学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容および授業方法						
	(3) 学部は、e-ポートフォリオやWebclassなどによる履修指導						
	(4) 研究科は、研究指導計画の明示とそれに基づく研究指導の実施						
	(5) 専門職大学院は、実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導の実施						

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
	⑤ 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1)成績評価の客観性、厳格性を担保するための措置				
		(2)学位授与に係る責任体制				
		(3)研究科は、学位論文審査基準、学位審査および修了認定の客観性および厳格性を担保する措置	博士の学位審査委員会に、学外の有識者を審査委員に加えていることが、評価できる。			
	⑥ 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)学習成果の測定をどのような方法で行っているか。 (例えば、アセスメントテスト、ルーブリックを活用した測定、学生調査など。)				
⑦ 教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについて、どのように検証しているか。	外部評価委員会において評価を受けていることが、評価できる。				
	(2)カリキュラム・ポリシーと授業科目の整合性について、どのような方法で検証を行っているか。					
基準5 学生の受け入れ	② 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学選抜を公正に実施しているか。	(1)留学生の受入れを促進するための制度改革をしているか【2018年度学長方針】				
		③ 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1)研究科は、入学者を増やす取り組みをしているか【2018年度学長方針】			
		④ 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したアドミッション・ポリシーについて、どのように検証しているか。			

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準6 教員・教員組織	② 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。	(1)人事計画に沿った教員の組織編制ができているか。				
	④ ファカルティ・ディベロップメント（FD）活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。	(1) どのようなFD活動を実施し、その結果をどう活用しているか。（学部/研究科それぞれ別にFD活動を実施する必要がある。）			FD活動は、本来研究科独自に行うべきだと考える。研究領域の特性もあるだろうが、理工学研究科がFDを学部と合同で行っていることが適切かどうか、研究科内で検討が必要だと思います。	3月の研究科委員会後に、研究科のFD・自己点検報告会の実施を検討している。
	⑤ 教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)教員組織の編成方針、FD活動の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。				
基準7 学生支援	② 学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制は整備されているか。また、学生支援は適切に行われているか。	(1)多様な背景をもつ学生に対する具体的な対応、補習教育、補充教育および成績不良学生の状況把握など、修学に対する支援の実施。				
	③ 学生支援の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)学生への就学支援の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。				
基準9 社会連携・社会貢献	② 社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。	(1)社会連携・社会貢献に関する取り組み、地域交流、国際交流事業、卒業生との連携を行っているか。【2018年度学長方針】				
	③ 社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)その取り組みの適切性について、どのような方法で検証を行っているか。				

2018年度自己点検・評価報告書 意見・指示および改善計画書

		学部・学科/研究科・専攻			理工学研究科・システム数理専攻	
評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準1	理念・目的	① 大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	学部・研究科の目的が設定され、公表されていることを前提に、その内容および大学の理念・目的と関連しているか。			
基準4	教育課程・学習成果	② 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	(1) ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーが整合しているか。			
		③ 教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1) 開設している授業科目が、科目の位置付け、配置年次などを含め、カリキュラム・ポリシーと整合しているか。			
			(2) 学部は、初年次教育、共通教育科目と専門科目の連携。			
			(3) 研究科は、コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮。			
			(4) 専門職大学院は、理論教育と実務教育の適切な配置。			
④ 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	(1) 留学プログラムの充実 【2018年度学長方針】	国際化事業によって学生の短期留学を実施し、現地で研究発表などをおこない、研究交流を盛んにし英語によるプレゼンテーションを高めていることが、評価できる。				
	(2) 学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容および授業方法					
	(3) 学部は、e-ポートフォリオやWeblclassなどによる履修指導					
	(4) 研究科は、研究指導計画の明示とそれに基づく研究指導の実施					
	(5) 専門職大学院は、実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導の実施					

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
	⑤ 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1)成績評価の客観性、厳格性を担保するための措置 (2)学位授与に係る責任体制 (3)研究科は、学位論文審査基準、学位審査および修了認定の客観性および厳格性を担保する措置				
	⑥ 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)学習成果の測定をどのような方法で行っているか。 (例えば、アセスメントテスト、ルーブリックを活用した測定、学生調査など。)				
	⑦ 教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについて、どのように検証しているか。 (2)カリキュラム・ポリシーと授業科目の整合性について、どのような方法で検証を行っているか。				
基準5	学生の受け入れ	② 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。	(1)留学生の受け入れを促進するための制度改革をしているか 【2018年度学長方針】			
		③ 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1)研究科は、入学者を増やす取り組みをしているか 【2018年度学長方針】			
		④ 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したアドミッション・ポリシーについて、どのように検証しているか。			

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準6	教員・教員組織	② 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。	(1) 人事計画に沿った教員の組織編制ができているか。			
		④ ファカルティ・ディベロップメント（FD）活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。	(1) どのようなFD活動を実施し、その結果をどう活用しているか。（学部/研究科それぞれ別にFD活動を実施する必要がある。）			
		⑤ 教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) 教員組織の編成方針、FD活動の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			
基準7	学生支援	② 学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制は整備されているか。また、学生支援は適切に行われているか。	(1) 多様な背景をもつ学生に対する具体的対応、補習教育、補充教育および成績不良学生の状況把握など、修学に対する支援の実施。			
		③ 学生支援の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) 学生への就学支援の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			
基準9	社会連携・社会貢献	② 社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。	(1) 社会連携・社会貢献に関する取り組み、地域交流、国際交流事業、卒業生との連携を行っているか。【2018年度学長方針】			
		③ 社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) その取り組みの適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			

2018年度自己点検・評価報告書 意見・指示および改善計画書

学部・学科/研究科・専攻 理工学研究科・ソフトウェア工学専攻

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準1	理念・目的	① 大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	学部・研究科の目的が設定され、公表されていることを前提に、その内容および大学の理念・目的と関連しているか。			
基準4	教育課程・学習成果	② 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	(1) ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーが整合しているか。			
		③ 教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1) 開設している授業科目が、科目の位置付け、配置年次などを含め、カリキュラム・ポリシーと整合しているか。			
			(2) 学部は、初年次教育、共通教育科目と専門科目の連携。			
			(3) 研究科は、コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮。			
		(4) 専門職大学院は、理論教育と実務教育の適切な配置。				

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
	④ 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	(1) 留学プログラムの充実 【2018年度学長方針】	2018年度は7名の修士1年生をアイオワ州立大学やシリコンバレーの企業に派遣し、現地で研究発表などをおこない、研究交流を盛んにし英語によるプレゼンテーションを高めていることが、評価できる。			
		(2) 学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容および授業方法				
		(3) 学部は、e-ポートフォリオやWebclassなどによる履修指導				
		(4) 研究科は、研究指導計画の明示とそれに基づく研究指導の実施				
		(5) 専門職大学院は、実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導の実施				
	⑤ 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1) 成績評価の客観性、厳格性を担保するための措置				
		(2) 学位授与に係る責任体制				
		(3) 研究科は、学位論文審査基準、学位審査および修了認定の客観性および厳格性を担保する措置				
	⑥ 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1) 学習成果の測定をどのような方法で行っているか。 (例えば、アセスメントテスト、ルーブリックを活用した測定、学生調査など。)				
		⑦ 教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1) 2017年度に改正したディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについて、どのように検証しているか。			
(2) カリキュラム・ポリシーと授業科目の整合性について、どのような方法で検証を行っているか。						

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準5	学生の受け入れ	② 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。	(1)留学生の受入れを促進するための制度改革をしているか【2018年度学長方針】			
		③ 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1)研究科は、入学者を増やす取り組みをしているか【2018年度学長方針】			
		④ 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したアドミッション・ポリシーについて、どのように検証しているか。			
基準6	教員・教員組織	② 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。	(1)人事計画に沿った教員の組織編制ができているか。			
		④ ファカルティ・ディベロップメント（FD）活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。	(1)どのようなFD活動を実施し、その結果をどう活用しているか。（学部/研究科それぞれ別にFD活動を実施する必要がある。）		研究科、専攻独自のFD・自己点検報告会の実施を、ぜひ進めてください。	3月の研究科委員会後に、研究科のFD・自己点検報告会の実施を検討している。
		⑤ 教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)教員組織の編成方針、FD活動の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			

評価基準	点検・評価項目	南山大学の 「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準 7	学生支援	② 学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制は整備されているか。また、学生支援は適切に行われているか。	(1)多様な背景をもつ学生に対する具体的対応、補習教育、補充教育および成績不良学生の状況把握など、修学に対する支援の実施。			
		③ 学生支援の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)学生への就学支援の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			
基準 9	社会連携・社会貢献	② 社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。	(1)社会連携・社会貢献に関する取り組み、地域交流、国際交流事業、卒業生との連携を行っているか。【2018年度学長方針】	文部科学省「成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成」採択事業「組込みシステム技術者のための技術展開力育成プログラム enPiT-Pro Emb」に連携校として参加していることは、社会人教育に貢献しているとして評価できる。		
		③ 社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)その取り組みの適切性について、どのような方法で検証を行っているか。			

2018年度自己点検・評価報告書 意見・指示および改善計画書

学部・学科/研究科・専攻

理工学研究科・機械電子制御工学専攻

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準1	理念・目的	① 大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	学部・研究科の目的が設定され、公表されていることを前提に、その内容および大学の理念・目的と関連しているか。			
基準4	教育課程・学習成果	② 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	(1) ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーが整合しているか。			
			(1) 開設している授業科目が、科目の位置付け、配置年次などを含め、カリキュラム・ポリシーと整合しているか。			
			(2) 学部は、初年次教育、共通教育科目と専門科目の連携。			
			(3) 研究科は、コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮。			
		(4) 専門職大学院は、理論教育と実務教育の適切な配置。				
④ 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	(1) 留学プログラムの充実【2018年度学長方針】	2018年度は3名の修士1年生を（中華民国）へ、1名の修士2年生をデウスト大学（スペイン）に派遣し、現地で研究発表などをおこない、研究交流を盛んにし英語によるプレゼンテーションを高めていることが、評価できる。				
	(2) 学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容および授業方法					
	(3) 学部は、e-ポートフォリオやWebclassなどによる履修指導					
	(4) 研究科は、研究指導計画の明示とそれに基づく研究指導の実施					
	(5) 専門職大学院は、実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導の実施					

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
	⑤ 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1)成績評価の客観性、厳格性を担保するための措置				
		(2)学位授与に係る責任体制				
		(3)研究科は、学位論文審査基準、学位審査および修了認定の客観性および厳格性を担保する措置				
	⑥ 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)学習成果の測定をどのような方法で行っているか。 (例えば、アセスメントテスト、ルーブリックを活用した測定、学生調査など。)				
	⑦ 教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについて、どのように検証しているか。				
		(2)カリキュラム・ポリシーと授業科目の整合性について、どのような方法で検証を行っているか。				
基準5	学生の受け入れ	② 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。	(1)留学生の受け入れを促進するための制度改革をしているか【2018年度学長方針】			
		③ 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1)研究科は、入学者を増やす取り組みをしているか【2018年度学長方針】			
		④ 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)2017年度に改正したアドミッション・ポリシーについて、どのように検証しているか。			

評価基準	点検・評価項目	南山大学の「評価の視点」	内部質保証推進委員会が記入			学部・学科/研究科・専攻が記入
			評価できる点	改善すべき点	意見・指示	改善計画
基準6 教員・教員組織	② 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。	(1)人事計画に沿った教員の組織編制ができているか。				
	④ ファカルティ・ディベロップメント（FD）活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。	(1)どのようなFD活動を実施し、その結果をどう活用しているか。（学部/研究科それぞれ別にFD活動を実施する必要がある。）			研究科、専攻独自のFD・自己点検報告会の実施を、ぜひ進めてください。	3月の研究科委員会後に、研究科のFD・自己点検報告会の実施を検討している。
	⑤ 教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)教員組織の編成方針、FD活動の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。				
基準7 学生支援	② 学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制は整備されているか。また、学生支援は適切に行われているか。	(1)多様な背景をもつ学生に対する具体的対応、補習教育、補充教育および成績不良学生の状況把握など、修学に対する支援の実施。				
	③ 学生支援の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)学生への就学支援の適切性について、どのような方法で検証を行っているか。				
基準9 社会連携・社会貢献	② 社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。	(1)社会連携・社会貢献に関する取り組み、地域交流、国際交流事業、卒業生との連携を行っているか。【2018年度学長方針】				
	③ 社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)その取り組みの適切性について、どのような方法で検証を行っているか。				